

第六十九回帝國議會
衆議院

土地賃貸價格改訂法案委員會會議錄(速記)第三回

會議

昭和十一年五月十六日(土曜日)午後一時十三分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 八田 宗吉君

理事飯田 助夫君 理事佐藤謙之輔君

理事蔭山 貞吉君

高田 耘平君

本多眞喜雄君

岡本實太郎君

吉植 庄亮君

瀨川 嘉助君

西川 貞一君

黒田 壽男君

土田 莊助君

植村嘉三郎君

仲西 三良君

古河和一郎君

三善 信房君

陣 軍吉君

五月十五日委員西村金三郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ土田莊助君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十六日委員西田郁平君辭任ニ付其ノ補闕トシテ岡本實太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

大藏參與官 丹下茂十郎君

大藏省主税局長 山田 龍雄君

陸軍少將 磯谷 廉介君

農林政務次官 田邊 七六君

農林省農務局長 戸田 保忠君

農林省畜産局長 田淵 敬治君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

陸軍騎兵大佐 吉田 愚君

司法書記官 奥野 健一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國稅徵收法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

競馬法中改正法律案(政府提出)

○八田委員長 是ヨリ開會致シマス——本日ハ先ヅ國稅徵收法中改正法律案ニ付キマシテ政府ノ御説明ヲ伺ヒ、質問ハ後廻シニ致シマシテ、ソレカラ競馬法案ニ付キマシテ質疑ヲ續行スルコトニ致シマス、先ヅ國稅徵收法中改正法律案ニ付キマシテ政府ノ説明ヲ願フテ置キタイト存ジマス

○丹下政府委員 只今議題ニナリマシタ國稅徵收法中改正法律案ニ付キマシテ其大要ヲ説明申上ゲヨウト思ヒマス、現行國稅徵收法ハ國稅徵收ノ費用トシテ市町村ニ對シ其徵收金額ノ百分ノ三ニ相當スル金額及納稅告知書一通ニ付テ金二錢ノ割合ヲ以テ計算シタル金額ヲ交付スルコトニナッテ居ルノデアリマスガ、斯様ニ支給標準率ガ一律ニナッテ居リマス爲ニ之ヲ市町村ニ區分シテ見マスレバ、大都市ニ於キマシテハ交付金ガ著シク徵收費用ヲ超過シテ居ルノデアリマスケレドモ、町村ノ如キハ却テ交付金ヲ以テシテハ徵收費用ヲ償フコトガ出來マセズ、尠カラザル不足額ヲ自ラ負擔セネバナラヌ狀態デアリマス、斯ノ如キハ交付金制度ノ趣旨ニ反スルモノデアリマスカラ、交付金ノ支給標準ヲ改正致シマシテ市町村ニ對スル配分ヲ調整セントスルコトガ此法案提出ノ理由デゴザイマス、元來交付金ノ支給標準ハ、常ニ實情ニ即シマシテ速ニ改正スルヲ適當ト致シマスノデ、是等ノ點ヲ考慮致シマシテ之ヲ勅令ニ讓ルコトト致シタ次第デアリマス、今立案致シテ居リマス支給標準ノ大體ヲ申述ベテ見マスレバ、之ヲ徵收金額ト納稅告知書トニ求メマシタコトハ從來ノ通りデアリマスガ、人口ノ多寡ニ依ッテ交付金額ト徵收費用トノ割合ニ異同ガアリマシタ從來ノ實蹟ニ徵シマシテ、都市ヲ人口數ニ依ッテ數段ニ區別致シマシテ前ニ申シ述ベマシタ二ツノ標準ヲ此間ニ按排ヲ致シ、以テ交付金ノ配分ヲ調整セント致シテ居ル次第デアリマス、右支給標準率ノ詳細ハ更ニ適當ノ機會ニ御説明致シタイト存ジテ居リマス、何卒御審議ノ上速ニ御決議ランコトヲ希フ次第デアリマス

○八田委員長 此質問ハ後廻シニ致シマシテ、説明ダケニ願フテ置クコトニ致シマス——是ヨリ競馬法案ニ付キマシテ質問ヲ續行致シマス——植村君

○植村委員 私ハ此取締ノコトニ付キマシテ内務大臣ガ御出デナレバ結構ダと思ヒマス

○八田委員長 政府委員デ御答出來ル程度ノコトハ……

○植村委員 ソレデハ……昨日ドナタカノ質問ノ中デ新改正法律案ニナリマス云フ

ト、收入ガ百三十萬圓バカリ増加ニナルト

付託議案

土地賃貸價格改訂法案(政府提出)
競馬法中改正法律案(政府提出)
土地賃貸價格改訂法案(施行ニ付テ耕地整理法ノ特例ニ關スル法律案(政府提出))
國稅徵收法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

云フ御話デゴザイマスガ、其事ニ付キマシテ一寸分ラナイコトガアリマスノデ、ドウ云フコトノ爲ニ是ガ殖エマスカ、御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○田淵政府委員 此改正法ヲ實施致シマスルト、十一年度ニ於キマシテ十年度ヨリ收入ノ増加ヲ致シマスコトガ約百三十一萬圓ニナッテ居リマス、其内容ヲ御説明致シマスルト、此改正法律ノ適用ヲ秋期ノ競馬カラ一齊ニ致ス譯ニナリマス、ソレデ奉競馬ニ改正率ヲ適用致スコトガ出來ナイ爲ニ、奉競馬ノモノニ付テノ增收ハ見デアリマセヌガ、秋期ノモノニ付キマシテノ增收ヲ見ルコトガ出來ル、ト同時ニ御承知ノ通り本年度ハ前年度ヨリモ、普通ノ賣レ方ガ増加致ス狀況デアリマスノデ、ソレニ依ッテ増加致シマス、其他臨時競馬ノ收入ガ幾分アリマス、ソシテ關係デ百三十一萬九千圓殖エル見込デアリマス、其内譯ヲ申シマス、率ノ改正ニ依リマシテ純粹ニ殖エマスモノガ八十八萬五千圓バカリ、自然增收ニ屬シマスモノガ三十五萬圓バカリ、臨時競馬ノ收入ニ屬シマスモノガ十一萬五千圓バカリ、斯ウ云フ風ナ内容ニナッテ居リマス

○植村委員 ソレデハ新規ノ規則ニ依リマシテ、馬券ガ餘計賣レルト云フノデハアリ

マセヌカ、臨時競馬ニ依ッテ殖エルダケデスカ

○田淵政府委員 臨時競馬ニ依ル收入ノアリマスノハ、本年限りノモノデアリマス、ソレカラ自然ニ増加致シマスモノハ、法律ノ改正ニ伴フトハ言ヒ條、法律改正ガアラウガ、ナカラウガ、賣レ方ガ年々ニ殖エテ參リマス、其殖エテ參リマスモノニ依ッテ、收入ノ十年度ヨリト一年度ニ於テ増加スルモノガ三十五萬圓、ソレカラ秋競馬ダケニ六分以内ヲ八分以内ニ致スコトニ依ッテ殖エマスモノガ八十五萬圓、斯ウ云フ風ニナリマシテ、合計百三十一萬圓ノ増加ヲ來スノデアリマス

○植村委員 其御話ハ能ク分リマシタガ、自然ノ馬券ノ賣上ノ増加ト云フコトニ付キマシテ、内務省ノ方ガオ居デニナレバ、私少シ御伺シタイト思ッテ居ルコトガアリマサガ、自然ニ馬券ノ殖エルト云フコトハ、主ニ京阪デ殖エテ居ルノデアリマス、勿論關東ノ競馬モ幾分殖エテハ居リマスガ、内務省ノ御取締ノ結果ニ依ッテ、所ニ依ッテ非常ニ寛大ナ時ト、又非常ニ嚴重ナ時トガアルノデアリマス、之ニ依ッテ現在ノ關西ノ競馬ハ、殊ニ鳴尾デモ、阪神デモ、御取締ガ非常ニ寛大デアリマス、事實私ハ行ッテ見テ

居リマスガ、窓口デ何枚デモ買ヘマス、規則ニハ一人一枚ト書イテアリマスケレドモ、實際ニ於テハ全ク何枚デモ買ヘマス、ソレガ少シ内務省ノオ役人、警察官ノ御機嫌ヲ損ジヨウモノナラバ、忽チ取締ラレル、サウシテ競馬ニ來テ居ル人ガ一寸シタ心得違ノ爲ニ一人デ二枚買ッタ、或ハ三枚買ッタト云フノデ酷イ目ニ遭フ、或ル競馬場ノ如キハ、大勢ノ觀衆ノ眼ノ前デ手錠ヲ箝メテ、腰繩デ連レテ行カレルト云フコトヲ目撃シタコトモアリマス、現在サウ云フコトガアルノデアリマス、斯ウ云フ風ニ取締ガヤカマシクナリマス、只今政府委員ノ御答辯ノ自然增收ト云フモノハ、一寸ムヅカシイト思ヒマス、又今ノ儘ノ取締措イテ置カレルナラバ、競馬場ニ依ッテ、競馬場ノ所在地ノ警察官ノ頭ダケニ依ッテ非常ニ違フノデアリマス、是ハ内務省ノ方ニ伺フノミナラズ、農林省ノ方デモ之ニ對シテドウ云フ考ヲ持ッテ居ラレルカ、其邊ノコトハ能クオ御存ジニナッテ居ルダラウト思ヒマス、ソレトモ取締ハ所管ガ違ヒマスカラ、警察方面ニ御任セニナッテアルノカ、農林省ハドウ考ヘテ居ラレマスカ

○田淵政府委員 御答致シマスガ、法律ニ依ッテ馬券ハ單複各々一枚ニ制限サレテ居

リマシテ、ソレノ履行ヲ圖ッテ居ルコトハ、内務省關係バカリデナク、農林省ハ毎回競馬ニ監督官ヲ出シマシテ、其履行ニ付テ十分ノ注意ヲ拂ッテ居ル譯デアリマス、又俱樂部ニ於キマシテモ、十分ニ其事ニ付テハ注意シテ居ル譯デアリマスガ、何分ニモ御承知ノ通り、アノ最後ノ一二分ノ間ニアレダケノ人ガ買フノデスカラ、其間ニ吾々ガ行ッテ注意シテ居リマシテモ、注意ノ届キ兼ねルヤウナ混雜ヲ來スノデアリマスカラ、サウ云フ風ナ間違ガ中ニ起ルト云フコトハ遺憾ニ考ヘテ居リマスガ、農林省トシマシテモ十分ノ注意ヲ致シマシテ、色々ノ方法ヲ講ジテ居ルノデアリマス

○植村委員 只今ノ御話ハ、私ノ申上ガタコトトハ一寸喰違ッテ居ルダラウト思ヒマスガ、私ハ農林省ノ方デ、ヤカマシク御取締ニナル方ニ御賛成ニナリ、其方ニ力ヲ盡シテ居ラレルノカ、又其方ハ警察官ダケニ委セテ居ラレルノカ、昨日モ一寸申上ゲマシタガ、競馬ヲ開催スル方ハ嚴重ニ御監督ニナッテ居リマスガ、賣場ノ方ハ餘リ御監督ニナッテ居ラナイヤウニ思ヒマス、昨年春或ル競馬場ノ如キハ、何時モ日曜日ニハ百萬圓以上賣レルノニ、チヨットシタ——何デモ伺ヒマス警察トノ間ニ行違ガアッタトカ

デ、警察ノ御機嫌ヲ損ジタ爲ニ、五六十萬圓シカ賣レナカッタ、其話ガ付イテ、其翌日カラ又百萬圓近ク賣レタト云フヤウナコトモ聞イテ居リマス、又私モソレヲ目撃シタノデアリマス、其警察ト俱樂部トノ話ノ内容ハ存ジマセヌケレドモ、サウ云フ話ヲ伺ッテ居ッテ、成程ト思ッタコトガアリマス、一寸緩メラレルト幾ラデモ賣上ガ殖エル、一寸嚴重ニセラレルト、忽チ一日ニ三十萬圓ヤ五十萬圓ハ違ッテ参リマス、關西方面ハ、私ハ割合ニ樂ダト思ヒマス、關東方面ハ非常ニヤカマシイト思ヒマス、ソレヲ農林省ノ方デハヤハリ内務省ト一緒ニヤカマシク御取締ニナルカ、今ノ御話デハ、農林省ノ方デモ二枚買ッテハイケナイ方ニ嚴重ニ監督シテ居ルト仰シヤイマスガ、事實ハ決シテサウデハナイ、又嚴重ニ監督スルトスレバ、今仰シヤッタ自然増加ノ八十萬圓ト云フ數字ハ決シテ出テ来ナイト私ハ思ヒマス、農林省ノ方デモ内務省ト協力シテ一緒ニヤカマシク御取締ニナル、又法律ニハサウナッテ居リマスカラ、ヤカマシク取締ルガ本當ダト思ヒマスガ、サウシマスト自然増加ノ八十萬圓ノ増加率ト云フモノハ、餘程算盤ヲ巧ク持ッテ貰ヒマセスト、自然増加デハソレダケノ金ハ出テ来ナイト思ヒマ

ス、ヤカマシク取締レバ、取締ル程……、私ハ昨日大臣ニ御尋シタ通り、現在ノ馬券ノ券面ノ二十圓ト云フコトニ對シテ異存ハアリマセヌガ、枚數ノ制限ヲ撤廢シテ貰ヒタイ、サウシマセスト本當ノ改革ハ出來ナイノデハナイカト思ハレマス、配當金ハ或ハ射倖心ヲ煽ルトカ、富籤ニ類スルヤウナコトガアリマスカラ、直チニ十倍二十倍ニシロトカ、無制限ニシロトハ言ヒマセヌガ、現在ノ券面デ何枚デモ賣レルヤウナ方法ヲ採ッテ戴キタイト云フコトヲ、昨日大臣ニ御尋シタノデアリマス、現在ハソコマデ考ヘテ居ナイ、尙ホ問題モアルカラ考慮シテ居ルト云フ御話デアリマシタガ、私ハ此新規ノ法律ニナルニシテモ、ナラヌニシテモ、現在ノヤリ方デハ、第一ニ馬券ノ制限ヲ撤廢シテ貰ヒタイ、是ガ根本ノ問題ダト思ヒマス、其邊ハ昨日大臣ノ御話ノ通り、マダ其處マデ行ッテ居ラナイノデアリマスカ

ハ私ガ申上ゲタノハ、三十五萬圓ノ方デ、八十五萬圓ハ率ノ方デアリマス、ソレデ能ク方々デ馬政調査會ノ時ナンカモサウ云フ御話ヲ聽イタノデアリマスガ、非常ニ違反ガ多イヤウニ仰シヤル方モゴザイマスガ、關西地方デ最近非常ニ殖エテ参リマシタノハ、最近ノ此經濟狀態ガ非常ニ好クナリマシタ關係デアリマスカ、アノ邊ノ賃銀勞働、軍需景氣ガ出タ關係デゴザイマスカ、實際ニ於キマシテ、買フ能力ガ非常ニ殖エタト云フ風デ増加シテ参ッテ居ルヤウデ、仰シヤルヤウナ非常ニ何枚デモ澤山ニ買ッテ居ルト云フコトハ絶對ニナイトハ勿論申上ゲマセヌガ、ア、云フ混雜ナ場合デアリマスカラ、サウ云フ間違モ起ッテ居リマスカ、是ハ努メテ厲行スルヤウニ設備其他デ考ヘテ居ルノデアリマスガ、今仰シヤルヤウナ酷ドイコトハナイヤウニ吾々現場ニ行ッテ見テ居ルノデアリマス

○植村委員 押問答ノヤウデスケレドモ、是ハ事實只今御説明ノ通り、成程關西ハ關東ト違ヒマシテ、軍需工業、總テノコトガ盛ニナッテ今景氣ガ好イ、斯ウ云フコトデ馬券ヲ買フ人多クゴザイマス、ソレハ事實デス、ソレダケニ、二十圓一枚デ甘シラレナイ人多クナッタノデゴザイマス、只今御話ノ如ク景氣ガ好クナッタカラ競馬ニ來ル人多イケレドモ、景氣ガ好クナッタカラ、二十圓券一枚デハ甘シラレナイ、實際東京邊リデハ見ラレマセヌケレドモ、東京ノ競馬場ハ御承知ノ如ク規則書ニモ書イテアリマス、招待者或ハ入場者ニモ注意シテ一等席ハ殘ラズ羽織袴、洋服ト云フコトニ券面ニ書イテアル、ソレ以外ニハ入レマセヌ、關西ニ行キマストソレハ書イテアリマスケレドモ、袴ヲ穿イテ居ル人モ少イ、甚シイ人ハ、法被ヲ著タリ、厚司ヲ著タリシテ入ッテ居ル人ガ澤山アリマス、サウシテ其人達ガ景氣ガ好クナッタカラト言ッテ二十圓券ヲ買フノデヤナイ、御札ヲ鵜摺ミニシテ何枚モ〳〵買ッテ居ルコトハソレハ事實デアリマス、ソレデ一日デ百五十萬モ二百万近クモ、マア百六、七十萬圓賣レタコトガアリマスガ、僅カノ時間ニソレダケ賣ルノニハ、吾々ハ是ハ餘程寛大ト申シマスルカ、景氣ガ好クナッタトシマシテモ、其時ハ違ッテ居ル、景氣ガ好クナレバ好クナル程餘計寛大ニナッテ居リマスガ、内務省ノ方ト一緒ニ御取締ニナルコトハ非常ニ結構デアリマスケレドモ、自然増加ノ方サハ減ラナケレバ結構ト思ヒマスガ、是ハ内務省ト御話ヲ願ッテ十分寛大ニシテ下サイトハ申シマ

セヌガ、餘り目立ッテ厭ラシイコトガ目ニ著クヤウナコトヲシテ戴キタクナイト思ヒマシテ、ソレダケ申上ゲテ置キマス、ソレカラ今度出來マスル競馬會ニ、一番偉イ人、所謂理事長ニモウ既ニ農林省ニ於テハ意中ノ人ヲ御決メニナッテ居ルサウデアリマスガ、ソレハ事實デアリマスカ

○田淵政府委員 御答致シマス、日本競馬會ガ成立致シマスノハ、設立委員ヲ任命ニナリマシテ、サウシテ業務規定其他ヲ定メテ設立ニナルノデアリマス、其際ニ農林大臣ノ任命ヲ見ル譯デアリマシテ、今農林省デドナヲトカト云フ風ナコトヲ考ヘテ居ルヤウナコトハナイノデアリマス、若シサウ云フ風ナコトガ御耳ニ入ッタトスレバ、是ハ色々ノ噂ヲスルヤウナノコトガ傳ハッテ、御耳ニ入ッタト云フ風ナコトカトモ考ヘマスガ、農林省トシマシテサウ云フ風ナコトヲ、ドナヲト云フ風ナコトヲ考ヘテ居ルヤウナコトハアリマセヌ

○植村委員 私モサウダラウト思ヒマスシ、又サウ云フコトガ當然デアリマス、併シ滿更噂バカリデヤナク、名前マデ的確ニ分ッテ居リマス、其名前ハ申上ゲテドウダカト思ヒマスガ、何デモ前ニ農林次官ヲシテ居ラレタ松村サンガ之ニナラレルト云フコ

トヲ、農林省方面カラ出タ有力ナ所カラ私モ聞イタノデアリマス、併ナガラ只今ノ政府委員ノ御言明ニ依リマシテ、サウダラウト思ヒマスシ、其事ガ本當ダラウト思ヒマスカラ、強ク其事ヲ申ス譯デヤアリマセヌガ、唯斯ウ云フ新シイ法案ニ對シテ、新シク生レマスル今度ノ競馬會ニ對シテ、是ハ甚ダ申上ゲ惡イノデスガ、往々ニシテ農林省ノ御方々ガ、農林省ヲ辭メタラ直グソコヘ入ラレルヤウナ、出店ノヤウナコトニナリマスト非常ニ複雑ナル競馬ニ對シテ、役人サンバカリデハ、年百年中ゴチャ／＼シテ居ルモノデスカラ、此點ヲ實ハ大臣ニシッカリト御願致シテ置キタイト思ッタノデアリマスガ、時間ノ御都合デ御出席ニナラヌモノデアリマスカラ、政府委員ヲ通ジマシテ農林省ニ御注意ト申シテハ甚ダ失禮デゴザイマスガ、十分ニ御斟酌ヲ願ッテ、役員ノ任命ニ御注意ヲシテ戴キタイト思ヒマス、尙ホ伺ヒタイ點モアリマスルガ、私一人喋ッテ居ルノモ何デアリマスカラ、次ノ方ニ譲リマス

○八田委員長 蔭山君

○蔭山委員 先般政府委員ニ御尋致シテ置キマシタガ、一ツ説明ヲ簡單ニヤッテ戴キタイト思ヒマス、資産狀態ニ付テ書類ハ戴イ

テ居リマスケレドモ、唯是ハ八年度、九年度、十年度位ナコト、或ハ此資産狀態デスネ、是ガ實際ノ根據デスネ

○田淵政府委員 只今御手許ニ御配付致シマシタ表ノ御説明ヲ申上ゲルヤウニト云フコトデアリマスガ、此八年度、九年度、十年度ト三箇年間ノ各競馬俱樂部ノ收入支出ノ狀況ヲ其處ニ差上ゲタノデアリマスガ、此收入ノ中ヘ入ッテ居リマスルモノハ、形式上ノ收入、即チ借入金デアリマストカ、繰入金デアリマストカ云フ風ナ形式上ノ收入關係ハ差引キマシテ、實際ノ收入ニ屬スルモノノミヲ加ヘマシタ、即チ勝馬投票券ノ賣得金デアルトカ、入場料、登録料等ヲ主トシタモノデアリマス、サウ云フ風ナモノヲ舉ゲマシタ、支出ノ方ハ是ハ借入金ノ償還金ノ如ギモノハ、是ハ形式上ノ支出デアリマスカラ、差引キマシテ實際ノ支出ヲ一切計上致シタノデアリマス、ソレデ主ナルモノハ償金、ソレカラ競馬場ニ於キマスル事務費關係デアリマス、其外ニ新營費トシテ相當ニ大キナ金額ガ出テ居リマス、隨ヒマシテ新營費ハ一時ニ土地ヲ購入シタリ、一時ニ大キナ設備ヲシタリスルコトガゴザイマスルノデ、此大キナ俱樂部ニ於キマシテ、赤字ニ現ハレテ居ルノハソレガ爲メデアリ

マス、サウ致シマシテ經常的ノ新營費ヲ加ヘレバ、或ハ狀態ガ分ルカモ知レヌト思ヒマシタガ、ソレハ想像ニナリマスノデ、一切有リノ儘ノ事實ヲ其儘差上ゲタ方ガ、赤ノ大キク出タ變ナ表ニハナリマスガ、正確ダト思ヒマシテサウ云フ風ニ致シマシタ、大キナ設備ヲ致シマシタ時ニハ、一方ニ借入金、繰入金ト云フ風ナモノデ大キナ施設ノ支出ニ充當致シテ居リマス、ソレデ八年度ニ於キマシテ東京競馬俱樂部ニ於テ二百萬圓餘ノ赤字ニナッテ居リマスノハ、下ニアル通りニ馬券所ヲ建築致シマシタガ爲メデゴザイマス、其他昭和九年、十年ニ於キマスル赤字ハ即チ皆新營若クハ土地ノ購入ノ爲メデアリマス、サウ云フ風ニ表ヲ致シマシタ關係上、一方各俱樂部及ビ協會ノ資産ノ調ヲ御手許ニ御配付申シタ譯デアリマス、是ハ各俱樂部ニ於キマスル所有土地ノ價格「スタンド」等ノ建物ノ價格、備品ノ價格、現金、有價證券、銀行預金ト云フヤウナ方面ヲ合セマシテ計ヲ出シテ置キマシタ、負債ト致シマシテハ未拂金及ビ借入金ト云フヤウナモノガ大ナモノデアリマスノデ、ソレヲ一切計上致シマシテ、一番下ガ差引殘高ノ計算ニナッテ居リマス、但シ土地及ビ營造物ノ價格ハ買入價格及ビ建築價

格ヲ計上シテゴザイマスカラ、其積リデ御覽ヲ願ヒタイと思ヒマス

○**薩山委員** サウスルト土地營造物ハ造ッタ時ノ値段デアッテ、現在ノ値段デハナイノデゴザイマスカ

○**田淵政府委員** 各俱樂部ト致シマシテハ、競馬ヲ致シマスノニ馬場ノ土地ハ是非必要モノデアリマシテ、相當ナ價格ヲ出シテ居ルノデアリマスカラ、俱樂部カラ見マスト、是ハ正當ナ現在ノ價格デアリマス、ソレカラ建物ナドモア、云フ特殊ナ建物デアリマスカラ、俱樂部トシテハソレガ現在ノ價格デアリマスガ、之ヲ賣ラウトカ何トカ云フコトニナリマス、ア、云フ建物デスカラ是ハ價格ガマルデ變ッテ來マスガ、其意味ニ於キマシテハ現在ノ價格ト云フ風ニ考ヘテ計上致シテ居ルノデアリマス

○**薩山委員** 各方面色々價格ガ違フノデゴザイマスガ、之ニ付テハ詰リ日本競馬會ガ出來タナラ——モウ先ニ旨ク協調ガ付イテ居ルノデスカ

○**田淵政府委員** 是ハ法律ノ第四十七條ニゴザイマスヤウニ、日本競馬會ガ成立致シマス、各俱樂部ハ一年以内ニ解散ヲ致シマシテ、其持ッテ居リマス資産及ビ負債ヲ全部日本競馬會ニ引繼グコトニナッテ居リマ

ス、唯特別ノ事由アリマスル俱樂部ニ付キマシテハ、命令ノ定ムル所ニ依リ一定額ヲ殘スコトガ出來ルト云フノハ勿論デアリマスガ、サウ云フ風ナコトニナッテ居リマス、ソレハ馬政調査會ノ答申ヲ基礎ニ致シマシテ立案致シタモノデアリマスシ、又各競馬俱樂部ガ寄ッテ居リマスル日本競馬協會ノ總會ノ場合ニモ、各俱樂部カラ代表ノ方ガ出ラレテ、ソレヲ御承認ニナッテ本會デ御認メニナッテ居ル譯デアリマス

○**薩山委員** 此問題ニ付テハ根本ニ遡ッテ少シク御伺シタイと思ヒマス、競馬ハ詰リ國家トシテ賭博ヲ許スヤウナ状態ニナリマシテ、之ニ非常ニ弊害ガアル、先程植村君カラモ御話ガアリマシタヤウニ、或ル所ハ非常ニ嚴重ナ取締ヲシ、或ル所ハ非常ニ寛大ナ取締ヲスル、之ニ付テハ農林省モ内務省モ餘程協調シテヤッテ戴カナイト、社會風俗ヲ非常ニ害スル傾ガアル、又各地方ノ競馬ノアル土地ノ人民ガ非常ニ惡クナルノデス、其點ニ付テハ競馬會ガ出來タ以上ハ、農林省ハ一ツ確固タル信念ヲ以テ或ル方面ニ向ッテ内務省ト餘程能ク御交渉ナサッテ、監督方法ヲ何トカ立テラレルト云フヤウナ方法ヲ講ジテ居ラレカドウカ伺ヒタイノデス、從來ハ各方面色々ノ取締デアリマシ

タノ弊害ガ多く、又或ル所デハ非常ニ惡イ人間ガ澤山收容サレルト云フノデ、如何ニモ競馬ト云ウタラ蟻ガタカルヤウニナル、サウシテ惡イ者ガ寄ッテ來ルノデ一面非常ニ惡イ影響ヲ受ケルノデス、殊ニ地方ノ町村ノ如キハ何等ノ納付金モナクシテ、只此點ニ付テドウ云フ御考ヲ有ッテ居ラレマス、先程ノ御答辯デハマダ十分ニ盡シテ居ラスト思ヒマスノデ、殊ニ内務當局ガオ居デニナリマセヌノデ、此點ニ付テ御交渉ニナッタ内容モ伺ッテ見タイと思ヒマス

○**田淵政府委員** 只今薩山サンノ御質問ノ點ニ付キマシテハ私モ豫々十分注意ヲ致シ、又將來モ格別ノ注意ヲ致サナクテハナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ今度ノ競馬法ノ改正モ今仰シヤルヤウナ方面ヲ基礎トシテ成立ッテ居ルモノデアリマス、從來十一ノ競馬俱樂部ガ各地ニ分立シテ競馬ヲ施行シテ居リマス關係上、俱樂部デモ色々注意ハ致シ、役所デモ十分ノ注意ハ致シテ居リマスガ、ドウシテモ各々ノ俱樂部ニ於テハ自分ノ俱樂部ノミノコトヲ考ヘ易イ、隨テ競馬ノ施行ニ付テモ必ズシモ適正ヲ得ルコトハ困難デアルト云フ風ナ方面カラ、今御話ノヤウナコトノ一ツノ原因ヲ爲

スヤウナ場合ガ相當アルノデアリマス、此改正法ハサウ云フ風ナ點ヲ除イテ、明ルイ公正適正ナル競馬ニスルコトヲ根本トシテ組立テラレタモノデアリマス、又外部ニ於テモサウ云フ風ナ意味カラ、馬政調査會ノ昨年ノ馬政第二次計畫ノ御答申ノ中ニアリマシタ所ノ、競馬ヲ速ニ統制改善シテ明朗ナルモノニシナケレバナラヌト云フ御趣旨デ此改正ガ生レテ來タ次第デアリマス、ソレカラ又此法案ノ中ニモ只今御話ノ點ヲ十分ニ編込ミマシテ、此開催ヲ致シマス場合ノ各種ノ取締規定ニ付テハ今度ハ餘程嚴重ニナッテ居リマス、ソレカラ吞ミ屋ノ相手方ナルヤウナ場合ニ付キマシテモ嚴重ナル制裁ヲ加ヘルヤウナ規定ニナッテ居リマス、諸種ノコトニ付キマシテ一々ノ點ハ御必要ナラバ又申上ゲルコトニ致シマシテ、サウ云フ點ニ付テハ十分注意ヲ致シテ居リマス、又内務省方面トノコトニ付キマシテハ、今度ノ改正ニ付キマシテハ馬政調査會ノ委員ノ數ヲ殖ヤシテ、司法省ノ刑事局長、内務省ノ警保局長等ニ委員ニオ入リヲ願ヒマシテ、特ニ競馬ノ統制改善ニ關スル審議ヲシテ戴イタヤウナ次第デアリマシテ、色々連絡ヲ取ッテ居ル次第デアリマス

○**薩山委員** 此競馬ノ資産ト引繼ギノコト

ハ大體分リマシタガ、今度ハ今迄持ッテ居ッ
タ權利ハ、詰リ各競馬會ヲ解散シテシマヘ
バ無クナッテシマッテ、日本競馬會ニナッテシ
マフ、サウスルトソレカラ後ノ出入リデア
リマスガ、斯ウ云フコトハ何カ一般大衆的
ニヤラレルヤウナ御意嚮デアリマスガ、是
ハ詳シク調べたら分ルデアリマセウケレド
モ、サウ云フコトハマダ十分ニ調べテ居リ
マセヌガ、其點ハ如何デアリマスガ、株式
組織ノヤウナ形ニナルカドウカト云フヤウ
ナ問題デアリマス

○田淵政府委員 今度此法律ヲ御協賛願ヘ
マスレバ出來マスル日本競馬會ト云フモノ
ハ、勿論今御話ニナルヤウナ株式組織ト云
フ風ナモノニ似タヤウナモノデアリマセ
ズ、ドチラカト申シマス、財團法人的ナ
法人デアリマシテ、ソレニハ會員ト云フヤ
ウナモノガナク、其法人ニ出來マシタ資産
ナドニ付キマシテモ分ケルトカ、或ハソレ
ヲ競馬ノ開催、詰リ馬ノ改良増殖ト云フヤ
ウナコト以外ニ使ッテ行クコトノナイ、全ク
ノ公益的ナ性質ノ法人ニナル譯デアリマス
○薩山委員 競馬ノ利益金カラ馬匹ノ方ニ
流用サレル金ハ從來下レ位アッテ、將來ハ又
ドウ云フ風ニナルカ、馬政計畫ヲ拜見スレ
バ分ルデアリマスガ……又軍部ト致シマ

シテハ、從來ノ御計畫ト今後ノ御計畫トド
ウ云フ風ニ御關係ガアリマセウカ、此馬政
計畫ニ付テノサウ云フヤウナ點ニ付テ、大
體ノ所デ宜シウゴザイマス

○田淵政府委員 競馬ノ納付金ノ額ハ昭和
十年度、即チ此四月迄ノ年度ニ於キマシテ
ハ、五百二十六萬圓程ノ收入豫算額ニナッ
テ居リマス、實際ニ於キマシテハ、各競馬
ノ終了致シマシタ計算ヲ致シテ見マス、
五百三十萬圓バカリノ納付金ガ入ル形ニ
ナッテ居リマスガ、收入豫算額ハ五百二十六
萬圓デアリマス、ソレデ年々ノ納付金ノ額
ハ、昨日御手許ニ表ト致シマシテ差上ゲテ
置キマシタガ、九年ガ四百七十何萬圓入ッ
テ居リマス、其前ガ四百十七萬圓、其前ガ
三百四十四萬圓、サウ云フ風ニ入ッテ居リ
マス、サウシテ其納付金ハ御承知ノ通りニ、
馬ノ施設ト社會事業トニ使フコトニ法律デ
ナッテ居リマス、社會事業ニハ現在大體百萬
圓廻ッテ居リマス、アトハ全部馬ノ方ニ廻ッ
テ居リマス、ソレカラ十一年度ニ於キマス
收入ハ六百五十八萬圓デアリマシテ、其中
社會事業ニハ約百萬圓、馬ノ方ニ五百八十
萬圓餘ノモノガ政府納付金ノ中カラ參ルコ
トニナッテ居リマス、ソレカラ馬政トノ關係
デアリマスガ、十年度ヨリ十一年度ニ馬政

ノ關係ニ於キマシテ、各種ノ施設ヲ致シタ
ノデアリマスガ、其金額ハ大體ニ於テ、即
チ新ニ馬ノ爲ニ加リマシタ金額ガ百九十萬
圓バカリニナッテ居リマス、是マデ馬ノ爲ニ
出シテ居リマシタ金額ヲ申上ゲマス、是
ハ大體ニ於テ十年度ニ於キマシテ馬ノ爲ニ
使ッテ居リマシタ金額ガ、匡救關係ノ事業ヲ
入レマシテ五百七十三萬圓バカリニナッテ
居リマス、十一年度ニ於キマシテ、ソレニ
百九十萬圓バカリ新規ノ經費ガ加ハリマス
ガ、十年度限り落チル經費モゴザイマスノ
デ、農林省所管ニ於キマシテ、馬ニ關スル
經費全體ヲ舉ゲマス、六百八十萬圓バカ
リ、其外内務省所管ニ多少ゴザイマス、大
藏省所管ニモゴザイマス、全部併セマシテ
約六百九十萬圓バカリノ金ニナル譯デアリ
マス、軍馬ノ關係ハ陸軍ノ方カラ……

○薩山委員 今表ヲ戴イテ居ルヤウデアリ
マスケレドモ、ドウモ入ッテ居リマセヌネ、
サウ云フ表ハ皆様ノ方ニ入ッテ居ナイヤウ
デアリマス
○田淵政府委員 ソレデハ直チニ差上ゲル
コトニ致シマス
○磯谷政府委員 只今ノ御質問デ、軍ノ方
ノ關係ニアルコトヲ申上ゲマスガ、軍部ノ
馬ニ要スル經費ハ、是ハ軍事費ノ方デ支辨

サレルモノデアリマシテ、競馬ノ政府納付
金ハ一般馬政ノ方ニ使用セラレルコトト
ナッテ居リマスノデ、直接軍馬ノ方デハ關係
ガナイモノト考ヘテ居リマス

○薩山委員 今ノ御答辯デハッキリ分リマ
シタガ、其以外ニ私共ノ關心ヲ持ッテ居ル
ノハ、此馬政計畫ニ依ッテ軍ハ從來ヨリハ
ドウ云フ風ナ、詰リ買上ニ付テ利益ヲ御受
ケニナルヤウニナルカ、詰リ軍馬ヲ買上ゲ
ルノニ、今迄ハ非常ニ不良馬——不良馬ト
申シマス語弊ガアリマスガ、惡イ馬ヲ買
上ゲラレル所ガ今後ハ此馬産ノ改良ニ依ッ
テ餘程工合好ク出來ラデアラウ、又ドノ地
方ニハ大體——是ハ員數等ハ或ハ祕密ニ屬
スルモノデ言ヘナイカモ知レマセヌガ、概
數デ結構デスカラ、ドノ方面ガ大體多イト
カ、ドノ方面ガ割合少イトカ、是ハ直接御
管理ノ馬兵課長カラデモ結構デスカラ一ツ
……
○磯谷政府委員 軍馬ノ方ニ直接關係ノア
ルノハ、唯戰時軍馬資源ヲ得ル、ソレニ役
立テルト云フ方ガ主デアリマシテ、經費ノ
方ニ關シテハ、直接何等關係ハゴザイマセ
ヌ
○薩山委員 最初ハ經費ノ方バカリヲ申シ
テ居リマシタガ、經費デナイ方面デ、特ニ

農林省ノ現在ノ計畫ニ付テ、陸軍ノ方デ御影響ノ程度ヲ御話シ願ヒタイ、斯ウ云フ意味ナンデス、ソレハ馬政課長カラ直接言ウテ戴イタラ結構デゴザイマス

○磯谷政府委員 説明員カラ細カク申上ゲマス

○吉田陸軍騎兵大佐 第二次計畫ノ大體ノ目標ハ軍馬ノ戰時資源ヲ作ルト云フコトヲ根本目標トシテ、之ヲ從來ノ計畫ヨリモ一層鮮明ニセラレタノデアリマスカラ、本計畫ノ進展ニ伴ッテ、軍トシテハ適格ナ優良ナ馬ヲ漸次取り易クナルグラウト云フコトハ、大體ニ判定シ得ルノデアリマス、尙ホ購買スル方面ニ付キマシテハ、大體御承知ノ通り北海道、東北、是ガ大部分デ、其外九州、朝鮮、斯ウ云フ處方重點デアリマス、若干頭數ヲ申上ゲマスレバ、昭和十年ノ購買ニ於キマシテハ、北海道ニ於テ總馬數二千八十五頭、東北六縣ニ於テ總馬數四千四百八十一頭、九州ニ於テ六百六十九頭、朝鮮二十二頭、其他ノ地方ニ於テキマシテ七百六十頭、斯ウ云フ狀態デアリマス、合計約七千頭ヲ買テ居リマス

○薩山委員 大體ソレデ分リマシタ、尙ホ是ハ農村問題ニモ多少關係致シマスケレドモ、從來御買上ゲナイ地方——更ニ新ニ加

ヘラレル地方ノヤウナモノガ、今度ノ馬政計畫ニ於テ殖エマス地方ガゴザイマセウト思ヒマスガ、其方面ニ付テ御漏ラシヲ願ヘマシタラ、尙ホ結構デゴザイマス

○吉田陸軍騎兵大佐 大體第二次計畫ノ遂行ノ爲ニ、陸軍ノ兩方面ト協議ヲ致シマシテ、各役種別ニ生産地ヲ限定ショウト云フコトヲ計畫シテ居リマス、隨テ此限定ガ出來マシトラバ軍ノ購買ト云フモノト、ソレト緊密ナル聯繫ヲ要スルノデアリマスカラシテ、將來其計畫ノ確定ヲ待ッテ購買地ニ多少ノ異動ガ出來ルト云フコトモ考ヘラレマスガ、現況ニ於テキマシテ何處ヲドウスルト云フ風ナコトヲ申上ゲルベキ程度ニ達シテ居リマセス

○薩山委員 先般モ關西地方ハ餘リ馬ガ良クナイノデ、關西地方ノモノヲ御検査願ッタリ、獎勵ノ意味ニ於テ色々出デラ願ッタノデアリマスガ、四國ヘオ出デニナッタ序ニ淡路地方モ見テ戴イテ、地方民ハ買上關係如何ニ依ッテハ、將來ノ地方ノ產馬ノ獎勵ニ非常ニ關係スル、斯ウ云フコトヲ申シテ居リマシタガ、例ヘバ兵庫縣或ハ四國ノ方面デモ新ニ開拓サレル方面、殊ニ淡路ノ方面ハ從來二千頭アッタモノガ六百頭ニナッテ居ルト云フ風デ、買上ガアレバ餘程獎勵ニ

ナリマスノデスガ、ナケレバ今度ハ非常ニ退歩スルト云フヤウナ結果ニナリマス、ソレノ如キハ何時頃御買上ゲニナルヤウナ御意向デアリマセウカ、ソナコトモ一ツ序ニ伺ヒタイ

○吉田陸軍騎兵大佐 大概只今御話ノヤウナ方面ニ於テハ若干ノ購買ヲスルト云フコトニ決定サレテ居ルヤウニ思ヒマス

○薩山委員 マダ細カイコトモアリマスケレドモ、時間ガアリマセスカラ、此程度ニシテ置キマス

○八田委員長 飯田君

○飯田委員 大體私ノ質問スルコトニ付キマシテハ、先ノ質問者カラ質問サレテ居リマスガ、私ハ其根本問題ニ對シテ御伺シタイト思フノデアリマス、ソレハ此際十一競馬ヲ統一サレルト云フコトハ、此事業ノ性質カラ私ハ非常ニ善イコトダト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、併ナガラ之ヲ機會ニ地方競馬モ併セテ統一サレル所ノ御成案ガアルカドウカ、ト申シマスルモノハ、公認競馬ノ方ハ主トシテ馬ノ蕃殖、即チ種馬ノ選擇ヲ主眼トセラレテ居ルノデアリマスガ、地方競馬ノ方ハ其地方ニ散在シテ居リマス所ノ使役馬ヲ保護獎勵サレル所ノモノデアリマシテ、是ハ兩々相俟ッテ始メテ馬事ノ

普及發達及ビ改良ガ出來ルモノト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、此點ニ於テキマシテ農林省竝ニ陸軍省ノ方ノ御當局ノ御考ハドウデアリマスカ、之ヲ第一ニ伺ッテ置キタイ

第二ニハ政府納付金デアリマスガ、從來ノ割合ノ即チ三分ノ一ニシテ置クコトハ、今ノ社會事業ノ關係ガアリマスト共ニ、是ガヤハリ地方競馬ノ方ニ於テキマシテモ、此納付金ト云フモノハ、形式ハ違ッテ居リマスケレドモ、ヤハリ納付金、寄付金、觀覽稅等ノ名目ニ依リマシテ縣ノ方デ徵收シテ居ルノデアリマスガ、中央ガ變更サレマスレバ其中央ノ方針ニ從ッテ、各地方ニモソレガ影響ガアルモノト、斯ウ思ウテ居リマス、要スルニ私ノ質問致シマスル要點ハ、社會局ノ方デモ恆久財源トシテ從來見テ居ッタモノデアリマスカラ、要スルニ其歩合ト云フモノハ從來通り變更セズニ居ッタ方ガ宜イノデハナイカ、之ヲ變更セラレルト云フコトハ、或ハ第二次馬政計畫ノ基本ノ方ニ影響スル所ガアッテ、サウ云フ風ニ御變更ニナッタモノデアアルカ、此二點ヲ御伺致シマス

○田淵政府委員 農林省ニ關係致シマス方面ヲ御答辯申上ゲマス、第一點ノ地方競馬ノ統制方面ニ付テノ考ハドウシテ居ルカト云フ御質問ニ御答致シマスルガ、地方競馬

ノ方面ハ御話ノ通りニ、日本ノ馬産ト云フ方面カラ重要ナル部門デアリマスノデ、此競馬ノ關係ヲドウニカ良イ方法ヲ立テ、馬政上有益ナ方面ニ導イテ、旁、社會ノ風教上ニ付キマシテモ出來ルダケ注意ヲ致シマシテ、害ノナイヤウニシナクテハナラヌト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ昨年馬政調査會ニ地方競馬、公認競馬兩方ヲ含メマシタ、即チ競馬全體ノ統制改善等ニ付キマスル方策ニ付テ諮問ガアッテ居ル譯デアリマス、其内地方競馬ノ方ニ付テモ色々御議論御研究ハアッタノデアリマスガ、地方競馬ニ付キマシテハ、中々ハムヅカシイ問題デ、直チニ答申スルト云フ譯ニモ參ラヌト云フ風ナ事情デ、差當リ公認競馬ノ方ノ御答申ガ本年ノ一月末近クニアリマシタ、ソレデ地方競馬ノ方面ハ議會ガ終リマシタラ、續イテ馬政調査會ノ方デ御審議ニナリマシテ、サウシテ御答申ガアルコトニナッテ居リマス、サウシテ其上政府ト致シマシテハ十分御期待ニ副フヤウニ處理ヲシテ參ルト云フ風ナコトニナッテ居ルコトハ、是ハ上局ノ方デモ、昨日大臣カラモサウ云フ風ナ趣旨ヲ御答申シタヤウナ次第デアリマス、ソレカラ政府納付金ノ使途ニ關スル御間デゴザイマスガ、是ハ從來政府納付金ノ三

分ノ二ヲ下ラザル部分ハ馬ニ使ヒ、其他ノ部分ハ社會事業ニ使ヒ得ルト云フコトニナッテ居リマシタ、其三分ノ二ヲ今度四分ノ三ニ改メタノデアリマスガ、是ハ昨日モ大臣カラモ此處デ御答辯ガアッタ譯デアリマスガ、今回此競馬法ノ納付金率ノ改正ニ依リマシテ、即チ從來ハ實上ノ百分ノ六以內ヲ政府ニ納付スルト云フコトニナッテ居タノデアリマスガ、今回ノ改正ハ百分ノ八以內ヲ納付スルト云フコトニナッテ居ル、ソレデ政府納付金ニ付キマシテハ、春秋ノ競馬ニ改正率ヲ適用ニナルト、即チ明年度カラハ春秋トモ改正率ガ適用ニナル譯デアリマスガ、サウ致シマスト明年度カラ約二百萬圓位十年度ヨリハ増加致スコトニナッテ居リマス、サウ云フ風ナ金ガ増加シテ參リマスト、此金ハ今度ノ馬政第二次計畫ノ方面ニ於キマシテ軍ノ要求ニ應ズル馬ヲ目安ニ施設シテ行クニハ、相當大キナ金ヲ要スルノデアリマシテ、其一部ニ充當スルコトガ非常ニ急ナモノデアリマスノデ、其方ニ充當スルコトニ事實豫算モナッテ居ル次第デアリマス、ソレデ其二分ヲ引上ゲマシタモノハ、改正ノ趣旨ノ上カラ考ヘテ參リマシテモ、四分ノ三ト云フモノヲ下ラヌト云フコトニシテ行クノデ、丁度計算上合フ譯デ

アリマス、ソレデ是ハサウスレバ、社會事業ノ方ヘ將來行ク限度ガ減リハシナイカト云フ御尋ガアッテ、昨日モ御答辯ヲ申上ゲタノデアリマスガ、ソレハ從來社會事業ノ方ニ三分ノ一迄ハ參リ得ルト云フコトニナルト、昭和十年度ノ豫算カラ見マシテ形式上ニハ約百七十五萬圓ノ金ニナル譯デアリマス、今度改正ニ依リマシテ四分ノ一ト云フコトニナッテモ、二百萬圓バカリノ增收ガアリマスノデ、ソレヨリモ五萬圓位増加致スコトニナリ、計算上カラハサウ云フ風ニナッテ、減ルヤウナコトハナイノデアリマス、尙ホ社會事業ノ方ヘ參リマスノハ、昭和六年ノ時ノ改正ノ場合ニ、百萬圓ヲ廻スノデアルト云フコトニ、議會デモ説明ヲ致シテ居リ、實際モサウ云フ風ニ致シテ居リマスノデ、實際ニ於テ社會事業ノ方ニ參リマス金ハ、從來通り百萬圓ト致シマシテ、此金ヲ變更スルト云フヤウナ考ハ、今ノ所持ッテ居ナイノデアリマス

○磯谷政府委員 只今ノ御尋ノ中デ地方競馬ノコトニ關シマシテハ、軍ト致シマシテモ軍馬資源ヲ得マス上ニ於テ、多大ナ關心ヲ持ッテ居ル次第デアリマス、隨テ農林當局ト協議ヲ續ケテ居リマシテ、其結果ニ依ッテ、將來是ガ堅實ナル發展ヲ切ニ希望シテ居ル次第デアリマス

○飯田委員 今ノ社會事業費ヘノ百萬圓ハ將來トモ減額スルノデハナイト云フ御説明デアリマシタノデ、是ハ諒承致シマシタ、先程モ地方競馬ノ取締ニ對シテ、其地方ニ依ッテ區々ナ取締デアルト云フコトハ實際其通りデアリマス、併シ又投票券ト云フモノガ一枚一圓ニナッテ居リマスガ、是ハ或ハ大都市カラズツト遠距離ノ所ヘ參リマシテノ地方競馬ハ、或ハソレデモ宜イカト思フノデアリマスルガ、大都市附近ノ地方競馬ニ一枚一圓ト云フノハ、實際ニ於テ時代ニ即セナイモノデアアル、斯様ニ考ヘルモノデアリマス、故ニ是ハ一枚例ヘバ十圓以內位ニシテ、其決定ヲ地方長官ノ方ニ御委セニナルヤウナ御意思ガアルカドウカ、更ニ又地方競馬ニ限ッテ景品券ト云フモノガ添付サレルノデアリマスガ、是ハ實際手數ヲ餘計ニ掛ケテ、經費ノ上カラモ餘計ヲ要シテ居ルノデアリマスガ、サウ云フコトヲ省イテ、ヤハリ簡單ニ直チニ投票券ニ依ッテ出來ルヤウニスル御考ガアルカドウカ、此二點ヲ御伺致シマス

○田淵政府委員 只今飯田サンノ御尋ノ投票券ヲ一枚一競馬ニ一圓ヲ限ルト云フコトヲ大都市附近ニ於テ行フコトハ、ドウモ

事情ニ即セスト云フヤウナ御話デアリマス
ガ、是ハ吾々モ始終多クノ方カラ御聞キ致
シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ點、其他
色々ノ點ニ付キマシテ、地方競馬ニ付テハ
十分考慮ヲシナクテハナラヌ點ガアリマス
ノデ、先程申シマシタヤウナ調査會デ十分
ニマア御研究ヲ願フデ、其上デ立案ヲ致シタ
イ、斯ウ云フ風ニ農林省ノ意見ハ決マッテ
居ルノデアリマス、尙ホ景品券ヲ渡スノハ
手數ガ掛ッテ困ルト云フノハ御説ノ通りデ
アリマス、併シ現在ノ地方競馬ヲヤッテ居
リマスノハ、内務省ノ方ノ取締規定ニ從ッ
テヤッテ居ルノデアリマシテ、其取締規定
ノ方面ニ於テ直チニ公認競馬ノヤウニ金ヲ
引換ヘルト云フ風ナコトハ、現在ノ所デド
ウモ規定ガ認メラレマセヌノデ、洵ニ片手
落ト言ヒマスカ、手數ヲ掛ケル點ニ付キマ
シテハ、全ク御話ノ通りノ事情デアリマス
ガ、現在ノ所是モ致シ方ナイ次第デアリマ
スガ、是等ノ點モ併セテ十分御趣旨ヲ酌ミ
マシテ、立案ニ對シテハ考ヘタイト思ッテ
居リマス

○八田委員長 三善君

○三善委員 私ハ本會議デ馬事上ノコトニ
付テ陸軍大臣ニ質問致シテ置キマシタノ
デ、其事ハ繰返シマセヌケレドモ、當時ノ

陸軍大臣ノ御答辯ノ要旨ガ餘リ簡單デア
リ、私ノ質問ニ對シテ、十分要領ヲ得ナカッ
タノデアリマス故ニ、其點ニ付テ特ニ陸軍
省ノ方ニ御伺致シタイト思ヒマス、大臣ガ
來テ居ラレ、バ結構デスケレドモ、大臣ガ
オ出デニナッテ居リマセヌガ、是ハ根本ノ問
題デアル、一體日本ノ馬ト云フモノハ大キ
過ギル、農業本位カラ言ヒマスレバ、是ハ
モウ陸軍當局モ御承知デアル筈デス、日本
ノ如キ小農本位ノ國ニ於テハアンナ大キナ
馬ハ必要ナイ、農業本位カラシマスレバ小
サイ馬デ宜シイ、所謂小格輓馬デ宜イト云
フコトハ、是ハ農林省モ御認メニナッテ居
ラレル、陸軍當局モ御承知デナクテハナ
ラスト思ヒマス、唯國防上ノ見地カラ、我
國ノ馬產ト云フモノハ大キナ馬ヲ作ッテ貴
ハナケレバナラスト云フノデ、私共民間ニ
在ッテ馬產ニ關係シテ居リマス者ト雖モガ、
ヤハリ忍ンデ、モ國防上ノ見地カラ大キナ
馬ヲ作ラナケレバナラスト云フノデ、大キ
ナ馬ヲ作ッテ居ルノデアリマスガ、其點ニ
付テ農業經營上ノ見地カラ、私ハ本會議ニ
於キマシテ、少クトモ農民ハ此爲ニ毎年三
千六百萬圓ノ損ヲシテ居ル、是ハ飼料費
ノ計算ニ於キマシテ、假ニ百五十一萬
頭ノ中、百萬頭ガ農業經營ニ必要以上

ニ大キナ馬デアルトシテ計算シテ見マシテ
モ、三千六百萬圓ハ毎年百姓ハ大キナ馬ヲ
飼フ爲ニ損ヲシテ居ル、斯様ニ國家ノ爲ニ
犠牲ヲ拂ッテ居リマス、故ニ之ニ對シテハ陸
軍當局トシ、モ此場合ニ何トカ考慮セラレ
ンケレバナラスト、斯ウ云フコトヲ私ハ申上ゲ
テ置キマシタ、國防ノ必要ナルコトハ固ヨ
リデアリマス、今軍需工業トカ色々ノ方面
ニ國防費ヲ費サレル際ニ於キマシテ、馬モ
所謂兵備ノ一部トシテ之ニ對シテ相當ナ助
成ヲ爲サル必要ガアルト思ヒマス、サウ云
フ風ニ陸軍大臣ハ、陸軍デハ大キナ馬モ要
リマス、小サイ馬モ要リマス、斯ウ云フコト
デアリマスガ、大臣ハ素人デアルカラ、馬
ノコトハ知ラナイノカモ知レマセヌ、ソレ
デア、云フコトヲ仰シヤッタノカモ知レマ
セヌガ、私ノ知ル範圍ニ於テ陸軍ニ於テハ
乘馬、輓馬、駄馬斯ウ云フヤウニ分ケテ考
ヘテ見マスト、乘馬ハ五尺以下ノモノハ殆
ドゴザイマスマイ、或ハ輓馬ニモ重輓馬、
或ハ輕馬等ガアリマスガ、是デモ小サイ馬
ハ居リマセヌ、唯駄馬ニ於テ若干小サイ馬
ガ居リマスケレドモガ、駄馬ノ頭數ハ比較
的少クハアリマスシ、ソレニ致シマシテモ、
駄馬ノ平均體尺ト云フモノハ、四尺九寸五
分、四尺九寸五分ト云フノガ駄馬ノ平均體

高デアリマス、ソレト農村ノ必要トスル所
ノ馬トヲ較ベマシテモ、農村ノ馬ハモット小
サイ馬デ宜シイ、軍デ要求シテ居ラレル所
ノ輓馬、或ハ乘馬ト云フコトニナリマスル
ト、ソレ以上ノ大キナ馬デアリマスガ故ニ、
農業上必要ナル馬ト比較致シマスレバ、軍
馬ハ全部農業上必要程度以上ノ馬ナリ、斯
ウ私ハ斷定シテ憚ラスト思フ、私ハ其見地
ニ立脚致シマシテ、我國ノ農村ハ此馬ノ爲
ニ、所謂國防ノ爲ニ大キナ馬ヲ作ル爲ニ三
千六百萬圓餘ノ損失ヲ蒙ッテ居ル、ソレダカ
ラ何トカ之ニ對シテ陸軍ハ考ヘテ貴ハナケ
レバナラスト、斯ウ云フコトヲ私ハ申上ゲタ
ノデアリマス、之ニ對シテヤハリ先日ノ陸
軍大臣ノ答辯ノヤウニ、大キナ馬モ要ル、
小サイ馬モ要ルカラソレデ宜シイ、コンナ
御考ヲ御持チニナルカドウカ、之ニ對シテ
的確ナル御答辯ヲ要求致シマス
○磯谷政府委員 軍馬ノ價格ニ付キマシテ
ハ、必ズ大キイ脊ノ高イ馬ヲ要求シテ居ル
ト云フヤウナ意味デハナイノデゴザイマシ
テ、總括的ニ言ヘバ、此間大臣ノ御答辯ヲ
申シタヤウナ趣意ニナル譯デアリマスガ、
尙ホ軍部トシテ要求ヲ、希望ヲ致シテ居リ
マス、價格ノ程度ニ付キマシテハ、今説明
員カラ細カク説明申上ゲタイト思ヒマス

○吉田陸軍騎兵大佐 只今御話ノ通り我國

ノ産業用馬ハ軍馬ト非常ニ開キガアルト云フコトハ、認メザルヲ得ナイノデアリマシテ、單ニ平時購買ノミヲ以テ戰時ノ資源ダケヲ民間ニ拵ヘヨウト云フコトハ絕對ニ不可能デアアル、デアリマスガ國防上カラハ平時戰馬ヨリモ、寧ロ民間ニ於ケル戰時資源ガ充實シテ居ルト云フコトガ非常ニ重要ナシデアリマスノデ、第二次計畫ニ於キマシテハ、ドウシテモ民間産業ト喰違ノアル所ハ何等カノ方法ヲ以テ保護助成ヲシナケレバ到底成立セスト云フコトヲ明確ニ認識シテ居ルノデアリマシテ、其點ニ關シテハ已ムヲ得ザルモノハ、或ル程度ノ物質的ノ獎勵ヲ行ヒ、一面ニ於キマシテハ成ベク利用ノ途ヲ開イテ、サウ云フ大キナ馬ハ比較的使ヒ易イヤウナ方面ニ範圍ヲ擴張シヨウト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、今日ノ豫算ニ於キマシテモ農林當局トシテハ其意向ヲ考慮セラレテ、或ル程度ノ豫算ヲ計上サレテ居ルヤウニ思ヒマス、尙ホ第二次計畫ガ非常ニ軍馬的ニナツタノデ、益、大キナ馬ヲ要求スルノデハナイカト云フ風ナ御感ジモアルノデハナイカト思ヒマスガ、此點ニ付キマシテハ現在以上ノ——少クモ體高ニ關スル限りハ大キナ馬ヲ要求

スルコトニナラスノデアリマス、軍馬ノ中デ最モ體高ノ大キイノヲ希望スルノハ砲兵ノ戰馬デアリマシテ、是ハ現在ノ軍馬管理規則ニ依リマス、一米四五乃至一米六〇ト云フモノヲ要求シテ居ルノデアリマス、デアリマスガ、是ハ其間隔ニ十五糎程ノ開キガアルノデ、馬生産ノ見地カラシテハ洵ニ標準ガ摺ミ惡イ、ソコデ軍トシテ最モ宜イノハドレ位ノ體高カト云フコトヲ示セト云フ要求ガ相當アッタノデアリマス、其結果研究ヲ致シマシテ、戰馬——最モ軍トシテ要求スル最モ大キナ馬デアアル戰馬ニ於テハ、一米五五ヲ標準トスルト云フコトニ略決メラレタノデアリマス、此一米五五ト云フモノヲ基準トシテ、昭和七年末ニ行ハレマシタ一齊調査ニ於ケル體高ヲ考ヘテ見マスルノニ、一米五五以上ノ馬ハ十六萬乃至十七萬ニ達スルト思ハレルノデアリマス、ソレハ總馬數デハナク、軍用適齡馬デアアル所ノ約百十一萬頭ニ付デアリマス、其中ノ十六七萬頭ト云フモノガ既ニ一米五五ノ馬ガ居ルノデアリマス、デアリマスカラ、此第二次計畫ガ順調ニ進捗シマシテ、軍馬ノ體型整理ト云フコトガ徹底シテ來レバ、今ノ二十萬弱ノ過高馬ト云フモノハ、或ル程度寧ロ低下スルノデアッテ、此意味ニ於テ

ハ多少民間ノ不便ヲ緩和シ得ルノデハナイカトモ考ヘテ居リマス

○三善委員 今ノ政府委員ノ御説明ニ依リ

マシテ陸軍ノ方針モ分ツタノデアリマス、ガ、政府委員ノ御説明ニ依リマスレバ、軍馬ハ所謂農家ノ必要トスル馬以上ニ大キナ馬ヲ要求シテ居ルト云フコトハ認メザルヲ得ナイ、兎ニ角農村ノ必要トスル程度以上ノ軍馬ヲ要求セラレテ居ル、是等ハ今ノ説明ニ依ッテモ明カデアリマス、ソレダカラ私共ハ陸軍大臣ガ大キナ馬モ要ル、小サイ馬モ要ル、コンナ出鱈目ナ答辯デハ私ハ承知シナイ、今之ヲ明確ニ言ハレタカラ、其點ハ私ハ能ク了解シマシタ、ソコデ私ハ御尋シマシタノハ、只今モ御話ノ通り戰馬トシテハ先ヅ五尺一寸程度ノ馬ヲ要求シテ居ラレルノデアリマシテ、我國ノ農村デハソナ大キナ馬ハ要ラナイ、要ラナイニ拘ラズ、國防ノ爲ニ大キナ馬ヲ作ッテ居ルカラ、此農村ノ毎年被ル損失ニ對シテハ、適當ノ方策ヲ講ゼラレナケレバナラスト云フノガ私ノ立論ノ根據デアリマス、其點ニ於テハ軍ニ於テモ第二次計畫ニ於テ相當ニ助成スル所ノ方法ヲ講ジナケレバナナルマイト云フコトデアリマスガ、第二次計畫ノ内容モ私ハ承知シテ居リマス、此程度デハ私ハ足ラナ

イト思フ、ソレカラ軍備充實、國防ノ充實、殊ニ兵備ノ改善充實ヲ期セラル、際ニ於キマシテ、今少シク農村ニ理解ヲ以テ、農村ガ毎年是ダケノ損失ヲ被ッテ居ルカラ、之ニ對シテ平常農村ニ向ッテノ所謂馬ノ育成ニ御力ヲ盡ス必要ガアル、ソレニハ少クトモ相當ナル金額ヲ助成セラル、必要ガアリハシナイカ、此點ヲ私ハ御尋スルノデアリマス、サウデナイト陸軍ノ要求セラル、或ハ六十萬頭ト言ハレ、或ハ七十萬頭ト言ハレルヤウナ、ソナ軍ノ要求シテ居ルヤウナ馬ヲ民間デ育成スルコトハ困難デアアル、其處ヲ御考ニナラナケレバ、唯國防ダ國防ダト言ッテ、何時モ農民ニノミ犧牲ヲ拂ハセルト云フコトハ、私ハ宜クナイト思フ、此點ヲ的確ニ御認識ヲ願ハナケレバナラスト思フノデアリマス、是ハ私意見ニ互ルノデアリマス、只今兎ニ角農村ノ馬以上ノ馬ヲ要求シテ居ルト云フコトヲ御認ニナリマシタカラ、之ニ對スル對策ハ自然ニ起ルベキモノト思ヒマスカラ、御研究ヲ願ッテ置キマス、尙ホ毎年陸軍デ御買ヒニナル所ノ馬ヲ昭和十年度ニ於テ頭數及ビ相場ニ付テ考ヘテ見マスルト、軍馬トシテ購入ヲ申込シテ參リマシタ馬ガ四萬八千頭デアアル、其中合格馬ガ一萬九千五百頭デアアル、然ルニ軍

デ御買ヒニナツタノハ、僅ニ三千九百五十八頭デ、其大部分ハ軍デ御買ヒニナツテ居ラヌ、斯ウ云フヤウナ状態デアリマシテ、軍馬トシテ御買ヒニナル所ノ價格ハ相當ナ價格デアリマスケレドモ、合格馬デアッテ而モ軍デ御買ヒニナラヌ所謂購買漏レノ馬ノ價格ト云フモノハ、一般馬ヨリモ却ッテ安くナツテ居ル、サウ云フヤウナ傾向ガアリマス、少クトモ軍馬購買價格ヨリモ百圓内外ノ開キガアルノデアリマシテ、折角軍ノ爲ニ馬ヲ作ッテ合格シナガラ、其馬ガ買ハレヌ爲ニ、購買漏レノ馬ハ安イ價格デ賣ラナケレバナラスト云フ其犠牲ニ對シテデモ、何トカ御考ヘニナラナケレバナラスト私ハ思フ、唯馬ヲ作ラセテ合格ヲシナガラ、其馬ハ買ハナイ、サウシテ其爲ニ百姓ハ多クノ犠牲ヲ拂ッテ行カナケレバナラヌ、斯ンナ無理ナ註文ハアリハシナイ、農村ニ理解アル軍部デアッタナラバ、今少シク此點ニ對シテハ御注意ガ必要ダト思フノデアリマス、之ニ對シマシテ將來所謂合格馬ニシテ、購買漏レノ馬ニ對シテハ、何等カ制度ヲ設ケラレル必要ガアルノデアルガ、其點ニ對シテ答辯ヲ願ヒマス

○磯谷政府委員 説明員カラ詳シク御説明申上ゲマス

○吉田陸軍騎兵大佐 只今御話ニナリマシタ骨子ハ、全然吾々ノ考ヘテ居ル所デアリマシテ、御趣旨ニ基イテ購買漏レノ合格馬ニ對シテ、何等カノ處置ヲ講ジヨウト考ヘテ居リマスガ、採リ得ル經費ニ自ラ限度ガアルノデアリマスカラシテ、當初カラ徹底的ニ出來得ルカト云フコトハ、一寸保證シ兼ネルノデアリマスガ、差當リ輓馬資源ト云フモノハ、平時ノ購買ト戰時ノ購買トノ比率ガ非常ニ惡イノデアリマス、輓馬ノ方ガ取敢ズヤルコトガ必要デアル、斯ウ云フヤウナコトヲ感じテ居ルノデアリマス、尙ホ先達テ本會議デ御述べニナリマシタ數字ト、或ハ只今ノ御話等ヲ伺ヒマシテ、新第二次計畫ニ於キマス乘馬二十萬、輓馬四十萬ト云フモノヲ、是ガ軍ガ取得セントスル數デアルト云フ風ニ、或ハ御考ヘニナルノデハナイカト思ヒマスノデ、其點私等ノ氣持ヲ述ベテ置キタイト思ヒマス、第二次計畫ト云フモノハ、從來或ル程度馬ガ進歩シテ來マシタガ、此際馬ヲ整理シ、種類ヲ固定シヨウト云フノガ一ツノ目的デアリマス、内地ノ保有馬ノ百五十萬頭ヲ、如何ニ整理スベキカト云フコトハ、軍ガ此目標ヲ與ヘナケレバナラヌ、隨テ軍トシテハ此百五十萬頭ヲ凡ソ二十萬ハ乘馬格、四十萬ハ輓馬

格、残り九十萬ハ小格輓馬格ニ整理サレタナラバ適當デアアル、斯ウ云フ意味デ示シタ數デアリマシテ、六十萬ヲ取ラウト云フ考ハ毫モ持ッテ居ラナイノデアリマス、唯整理スベキ前進目標ニ過ギナイノデアリマス、取得セントスル數ハ乘馬、輓馬、小格輓馬ヲ合シテ、差當リ内地ニ於テ五十萬ヲ採ラントシテ居ルノデアリマシテ、更ニ五十萬ノ内譯ヲ申シマスレバ、乘馬格ノモノ五萬、輓馬格ノモノ十萬、小格輓馬格ノモノ三十萬ヲ採ラントスルノデアリマス、デアリマスカラ、單ニ此數字ヲ以テ、軍ガ内地馬數ニ於テ乘馬二十萬ヲ採ッテ行ク、又輓馬四十萬ヲ採ッテ行クト云フ風ニ萬一御考ニナリマシタナラバ、ソレハ非常ニ考ニ齟齬ガアルノデアリマス、尙ホ此數ハ内地ニ於テハ無理デアルト云フコトヲ認メテ居リマスノデ、外地ニ於テ取得スル見込ガ漸次立チマスルナラバ、成ベク此乘馬及ビ輓馬ト云フモノハ内地ニ於テハ輕減シヨウトスルコトヲ、常ニ考慮シテ居ルノデアリマスガ、差當リハ此位ノモノヲ目標トセザルヲ得ヌト云フ風ナ状態ニアルノデアリマス

○三善委員 只今合格馬ニシテ購買漏レノ馬ニ對シマシテハ、何等カ方策ヲ立テル、斯ウ云フ御答辯デアリマシタカラ、是ハ滿

足致シマシタ、必ズサウ云フ御方策ヲオ立テニナツテ、救済サル、必要ガアルト私ハ思ヒマス、只今御述ニナツタル、或ハ乘馬二十萬頭、輓馬四十萬頭ヲ直チニ軍ノ必要上、是ダケ買フノデハナイカト云フコトハ、私ハサウ考ヘテ居リマセヌ、其點ハヤハリアナタノ御意見ト一致致シマス、唯、今之ヲ内地ノ軍馬ハ減サル、ナラバ成ベク減シテ、外地デ要求サレルナラバ成ベク外地ヘ要求シタイト云フ御考モアリマシタガ、是ハ朝鮮ヤ滿洲ヲ考ヘタラバ能ク分ルト思ヒマス、朝鮮デハ殆ド馬ハ出來マセヌ、今日デモ朝鮮デ御買上ニナツテ居ル所ノ馬ハ、僅ニ五六頭ニ過ギナイ、ソレ位ノモノデ、朝鮮デ何十年カオヤリニナツテモ、朝鮮ノ馬ト云フモノハ、ソレ迄ニシカ進ンデ居リマセヌカラ、朝鮮デ軍馬ヲ作ルト云フヤウナコトハ、是ハ到底望マレヌト思ヒマス、殊ニ滿洲ハ小サイ馬ガ——是ハ私ハ餘リサウ立入ッテ知リマセヌガ、之ヲ今カラオヤリニナツテモ、容易ナルコトデハアリマスマイ、結局内地馬ニ相當力ヲ御注ギニナツテ、將來軍ノ必要トスル所ノ、要求セラル、所ノ馬ハ内地ニ於テ平時育成シテ行カナケレバナラヌ、此御方針ガ必要ダト思ヒマス其爲ニハ相當今日ノ兵備充實ヲナサル際ニ於テ、

特ニ必要ダト考ヘマスルガ故ニ、多少此點ニ對シテ質問致シタ譯デアリマス、軍ノ方デモ、十分農村ガ軍ノ爲ニ軍馬ヲ作ル、其爲ニ犧牲ヲ拂ッテ居ルト云フコトハ、御認メニナッテ居ラル、ト思ヒマスカラ、是以上申上ゲマセヌ

次ニ農林省ノ方ニ御尋申上ゲマスルガ、平素農林省ノ方ノ御意見ハ能ク承知シテ居リマスカラ、此際多クハ申シマセヌ、唯競馬ノコトデアリマスルガ、今回公認競馬ノ統制ヲナサルコトハ最方宜イコトダト思ヒマス、而シテ是ガ收入ヲ圖ラレテ馬政ノ第二次計畫ノ財源トセラル、コトモ、吾々ハ非常ニ結構ナコトダト思ッテ居リマス、是ト同時ニ競馬場ノ整理ヲナサル必要ガアルト思ヒマス、今日公認競馬場ハ全國ニ分布サレテ居ルノデアリマスルガ、其中デ比較的賣行キノ惡イ競馬場ガアリマス、元此公認競馬ノ設立ノ當時ニハ、或ハ地方的ニ是ノ箇所ヲオ決メニナッタノカモ知レマセヌケレドモガ、今日ハ地方競馬ガ各地方ニアリマスルノデ、公認競馬ヲ各地方ニマデオ置キニナル必要モナカラウカト思ヒマス、是ハ適當ナル場所ニ整理シ、或ハ移轉ノ要ガアルト思ヒマスルガ、其點ニ對シマシテ、農林當局ハドウ云フ御意見ヲ持ッテ居ラル、

ノデアリマスルカ、一應承ッテ見タイト思ヒマス

○田淵政府委員 三善サンノ只今ノ御尋ニ私カラ申上ゲルノハ如何カト思ヒマスルガ、大體馬政調査會其他ノ場合ニ政府カラ申上ゲマシタノト同ジ程度ニ於テ申上ゲルノナラバ、大體私カラ申上ゲテモ御了解ヲ得ルカト思ヒマス、其意味デ御聽キヲ願ヒマス、競馬場ノ位置ニ付キマシテハ、此法律ニ於キマシテモ、當分ノ中ハ從前通りトスルト云フコトニナッテ居リマスノデ、又政府ノ方針トシテモ、其通りデアリマス、併シ只今御話ノ通りニ、現在ノ位置ハ必シモ是ハ適當ト言フコトモ出來ナイカトモ考ヘラレル點モアリマスノデ、將來適當ノ時機ニ於キマシテ、競馬場ノ位置等ニ付キマシテ考ヘテ、整理ヲスルト云フコトノ必要ガ起リマシタ場合ニハ、其時ニ於キマシテ現在アリマス所在地ニ於キマシテモ、何等ノ異議モナク、圓滿ニ了解ヲ得ルヤウナ場合ニ於キマシテハ、是ハ考ヘルコトガアリ得ルコト、考ヘルノデアリマスガ、現在直チニドウカト云フ御話デアレバ、是ハ現在ハ從來通りノ方針デアリマス、斯ウ云フ風ニ御答申ス譯デアリマス

轉セイト云フノデアリマセヌガ、ヤハリ將來サウ云フコトヲ爲サル必要ガアル、ウ思ヒマシテ、其意味ニ於テ御尋致シマシタガ、言外ニ十分御氣持ハ分リマシタカラ、是以上伺ヒマセヌ、地方競馬ノコトデアリマスガ、地方競馬ニ付キマシテハ、是ハ全ク政府デ考ヘテ居ラレタコトト、實際ヤッテ見ルト現在ノ實情トハ全ク違ッテ居リマス、元來地方競馬ト云フモノハ生産馬ノ頭數、或ハ馬ノ頭數等ニ依ッテ地方的ニ箇所數ヲ決メラレテ、サウシテ馬ノ多イ所ニハ箇所ヲ餘計ニ設ケルト云フコトデ、馬事思想ノ普及或ハ馬産ノ振興、斯ウ云フ意味カラ地方競馬ヲ御設ケニナッタノデアリマスガ、今日ノ現狀カラ見マスルト、馬ノ多イ所ニ限ッテ地方競馬ト云フモノハ振ッテ居リマセヌ、却テ馬ノ多イ所ニヤルト、缺損シテ居リ、馬ノ殆ド居ラナイ所ガ、非常ニ地方競馬ガ發展シテ居ルト云フノガ、現在ノ實情デアリマス、政府ノ方デハ頻リニ地方競馬デ舉ゲラレタ所ノ利益金ハ馬ノ爲ニ使ヘ、斯ウ言ッテ居ラレマスガ、馬ノ居ラナイ所ニ限ッテ大イニ振ッテ、馬ノ多イ所ハ缺損シ居ル、馬事思想ノ普及ハ圖ラレルカモ知レマセヌケレドモ、馬事振興ノ爲ニ使ハウトシテモ其費用ハ出ナイ、是ハ是非御考ヘ願ハナケ

レバナラヌト思フ、是ハ中央ニ於テ統制セラレテ、其利益ノアル所ノ競馬場カラ、之ヲ地方的ニ相當考慮セラレル必要ガアリハシナイカ、若シ馬ノ爲メ以外ニデモ使ッテ宜イト云フコトニナレバ、馬ノ居ラヌ所ニハ或ハ牛モ居リマス、他ノ家畜モ居リマスカラ、各方面ニ使ッテモ宜イカモ知レマセヌケレドモ、馬ノ爲ニ使ヘト云フコトダト非常ニ利益ガアッデモ、馬ノ爲ニ使ハレナイ、使フ餘地モナイト云フ狀態デアリマスカラ、私ハ特ニ此點ハ御考ヘニナラナケレバナラヌト思ヒマス、屢々生産地方面カラ陳情等ヲ致シテ居リマスガ、生産地方面ハ全ク行詰リヲ生ジテ居ル、是ハ事實デアアル、先刻モ申上ゲマシタ通り、國家ノ爲ニ生産ヲ致シテ居リマスケレドモ、決シテ馬ト云フモノハ農村ニ對シテ利益アル所ノ動物デハアリマセヌ、寧ろ牛ヲ飼ッタ方ガ經濟上ノ見地カラ申上ゲマスケレバ、餘程得ナノデアリマス、ケレドモガヤハリ地方廳ニ於テモ獎勵シ、國家モ獎勵シ、又農村モ或ル程度ノ犧牲ヲ拂ッテデモ、馬ヲ飼ッテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマスガ故ニ、少クモ是等ノ生産地方面ニ對シテハ特ニ御考慮サル、必要ガアルト思ヒマス、何等カソレニ對シテ御考ガアルナラバ承ッテ見タイト思ヒマス

○三善委員 現在直チニ之ヲ整理、或ハ移

現在直チニ之ヲ整理、或ハ移

現在直チニ之ヲ整理、或ハ移

現在直チニ之ヲ整理、或ハ移

○田淵政府委員 只今三善サンノ御質問ノ

點ハ吾々豫々承ッテ居ル點デモアリマスシ、又他ノ方面ノ方モ始終御話ノ點デアリマス、是等ノ點ハ直チニ之ヲドウスルカト云フコトニ付キマシテハ困難ナ點モアリマスノデ、是等ハ地方競馬ノ調査會ニ於キマシテ、十分ニ御審議ヲ願ッテ、善處シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ生産方面ニ對シテ非常ニ苦シイ立場ニアルカラ、相當ニ考ヘル必要ガアルト仰シヤルノハ、勿論吾々モ左様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、各種ノ施設ニ付キマシテモ、將來出來ルダケ其方面ニ力ヲ入レタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、尙ホ生産地方面ノ極ク不振ノ地方競馬ニ付テ、ドウ考ヘルカト云フ點ニ付テ申上ゲマス、是ハ相當ニ賞金ナドノ補助ヲ、政府ニ計上シテ行ク必要ガアラウト考ヘマシテ、馬政第二次計畫ノ前ニモ、四萬圓バカリノ金デ、少額デハアリマスガ生産地方面ノ地方競馬ノ賞金ヲ補助スルコトニ致シマシテ、苦シイ地方競馬ニ付テハ緩和ヲ圖リタイト云フ風ナ考ヘデ居リマス

○三善委員 只今生産地ニ對スル所ノ、或

ハ地方競馬ニ對シテ、賞金等ノ相當額ヲ計上ヲシタト言ハレマスコトハ、是ハ洵ニ感謝致シマスルガ、是モ程度問題デアリマ

シテ、僅カ四萬圓程度ヲ以テ、各地方ニ賞金ヲ御補助下サツテモ、サウ大シタコトデハアリマセヌカラ、將來ハ十分御考慮ヲ願ッテ置キマス、尙ホ私家畜ノ傳染病ノコトニ付テ、當局ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマスル

ガ、昭和七年、八年、九年ノ家畜ノ傳染病、殊ニ馬ト牛トニ就テ考ヘテ見マスルト、全國九百八頭ノ中ニ、九州ハ四百二十二頭デアリマシテ、實ニ其半分ハ九州ガ占メテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマス、殊ニ九州ニハ馬ノ生産等ガ多クアリマシテ、東北六縣一萬四千八百七十七頭ノ生産ニ對シテ、其生産ハ千七百八十五頭、九州ハ九千八百八十五頭ニ對シテ、生産ハ千七百二十八頭、東北六縣ハ百分ノ十三ノ生産ニ對シテ、九州ハ百分ノ十八、此ヤウニ生産ガ非常ニ多イノデアリマス、斯様ニ或ハ馬ノ生産ト言ヒ、或ハ又傳染病ト言ヒ、洵ニ九州ハ他ノ府縣ニ比シマシテ非常ニ多イノデアリマス、或ハ馬事團體ノ會議等ニ於キマシテモ、屢ニ此事ハ政府ニ要求致シテ居リマス、六十七議會デアッタカト思ヒマスガ、請願委員會ニ於キマシテモ、九州ニ是非トモ獸疫調査支所ヲ設置シテ賞ハナケレバナラヌ、當時政府當局ニ於テハ、九州ニ設置シマスト云フ言明ヲ得テ居ルト、私ハ承知致シマス、恐

ラク此年度ニハ此團疫調査支所ヲ、九州ニ設ケラレルコト、思ッテ居リマスガ、果シテ九州ニ御設ケニナル御意思ガアルカドウカ、是ハ多年ノ問題デアリマスシ、モウ總テ全國ノ馬事團體ノ會議等ニ於キマシテモ、何等之ニ對シテ異議ナク、特ニ九州ニ對シテ必要ダト云フコトヲ、御認メニナッテ居ルコト、思ヒマス、政府當局モ御認ニナッテ居ルト思ヒマスガ、果シテ設置セラレル御意思ガアルカドウカ、此際特ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○田淵政府委員 只今御話ノ九州ニ於ケル

獸疫方面ノ調査研究ヲ進メルヤウニト云フ御希望ハ、前カラ吾々御聞キ申シテ居ル所デアリマスシ、尙ホ農林省ニ於キマシテモ、此要求ハ是マデ相當致シテ參ッテ居ルノデアリマス、十一年度ニ於キマシテハ、實ハ獸疫調査所ノ本所ノ方ノ全部營繕ノヤリ換ヲ、繼續費ニ於テ約四十五萬圓バカリ、御協賛ヲ得ルヤウニ、今豫算ヲ出シテ居ル譯デアリマスガ、サウ云フヤウナ考ヘデ九州ノ方面ニ及ビ得ナカッタコトハ、洵ニ遺憾ト存ジテ居リマス、吾々ト致シマシテハ、出來得ルダケ早く一ツ九州方面ノコトニ、豫算ヲ御承認願ヒタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ、將來努力スル積リデ居ルノデアリマス

○八田委員長 ソレデハ今度ハ土田莊助君

○土田委員 先程來各委員ニ於カレマシテ

色々競馬法改正ニ關シマシテ、日本ノ生産ノ現状ニ對シマシテ色々御意見ヲ拜聽致シタノデアリマスケレドモ、私共モ同様ニ、此競馬法實施後既ニ十一年ヲ經過シテ居リマスルガ、當初ノ目的ト現在ノ狀況トハ相反シテ居ルノデアリマス、第一公認競馬ニ於キマシテハ、主ニ種ノ改良ヲ致スト云フコトヲ主眼トシテ居リマスルガ、現在ノ出走馬ノ狀況ヲ見マスレバ、雜種馬ノ出走ガ非常ニ多クナッテ居ルノデアリマス、是ハ全ク競馬ノ墮落デアルト言ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、又一面ニ於キマシテハ改良ト増殖、馬事ノ普及ト云フコトヲ目標ト致シマシテ、地方競馬ト云フ制度ヲ設ケテ居ルノデアリマスルガ、最前カラ申サレマスル如ク、地方競馬ノ不振ノ狀況ハ、殆ド言語ニ絶シテ居リマシテ、生産者ガ此競馬法實施ニ依リマシテ、何等利得ヲ得テ居ラヌノデアリマス、其經濟的ノ打擊ニ依リマシテ、只今申サレマスル如ク非常ニ病馬ガ多イノデアリマス、又生産頭數ガ減少シテ居ルノデアリマス、而モ不思議ナコトニハ、最前農林當局ノ答辯ニ致シマシテモ、地方競馬ノコトハ追ッテ馬政委員ニ相談ヲ

致シマシテ、其上ニ適當ノ對策ヲ講ズル、斯ウ申サレテ居ルノデアリマス、由來馬政委員ナルモノハ、政府ガ任命シタ官僚ノ一ツノ機關デアリマシテ、何故ニ農林當局ハ、民間ノ團體デアル馬匹協會ニ此問題ヲ提出シナイノデアルカ、既ニ馬匹協會ニ於キマシテハ、地方競馬ニ對シマスル相當ナ腹案ヲ持ッテ居ルノデアリマス、現在十一年モ過ギマシテ尙ホ一ツノ調査機關ニ諮ラナケレバ、何事ヲモヤリ得ナイト云フ狀況ニアリマスルト假定致シマスレバ、私共ハ民間ノ當業者ト致シマシテ、政府ヲ信頼シ得ナイノデアリマス、私共ハ地方競馬ノ現狀カラ見マシテ、ドウシテモ先程三善君ガ申サレマシタ如ク、都會地附近ト生産地々帯ハ、自ラ二ツノ制度ヲ設ケナケレバナラヌト提唱スル者デアリマス、都會地附近ノ地方競馬ハ、相當發達ヲ致シテ居リマスルガ、何等生産ニハ關係ヲ持ッテ居ラヌノデアリマス、生産ニ關係ナキ地方競馬ハ幾ラ發達致シマシテモ、競馬法實施ノ趣旨ニ副ハヌノデアリマス、隨テ馬ノ改良、又當業者ノ經濟的利益ト云フモノハ、何等現在ニ於テ保障サレヌト云フコトハ、最前申シタ如クデアリマス、私共競馬ト云フモノハ、決シテ是ハ娛樂デハナイ、眞ニ國家ガ必要ナ馬

事獎勵ノ機構トシテ存置スベキモノデアリマス、現ニ競馬ニ出走スル馬ガ勝利ヲ得テ、サウシテソレダケノ榮冠ヲ得ルト云フコトハ、最モ健康ナル狀態ニ馬ヲ平素管理スルト云フコトデアリマス、競馬ナルモノハ馬ノ健康ヲ最善ノ健康ニ導クト云フコトデ、ソレガ競馬ノ本義デアルノデアリマス、ソレ以外ニ競馬ト云フモノハ何等ナイノデアリマス、サウ云ウ重大ナ競馬ヲ、地方ノ生産地帯ニ於テ閉却シテ、尙ホ實施後十一年ノ今日ニ於テ、政府當局ガ之ニ關心ヲ持タヌト云フコトハ、其怠慢モ甚シイト言ハナケレバナラヌノデアリマス、サウ云フ結果ト致シマシテ、先程來申サレマシタ如ク、軍馬ノ資源地ハ現在殆ド荒廢ニ歸セントスル狀態ニ相成ッテ居ルノデアリマス、丁度軍馬ガ要求スル現在ノ馬匹ハ、恰ル公認競馬ニ出走サレマスル抽籤馬、或ハ「アラブ」雜種馬ノヤウナ種類ニ屬シテ居ルノデアリマス、之ヲ公認競馬ニ出走サセマシタト致シマシテ、其購買頭數ハ極ク寥々タルモノデアリマス、而モ地方ノ生産地帯ノ當業者ハ、公認競馬地帯ニ參リマシテ之ヲ觀覽シ、馬ノ管理、増殖ニ關スル知識ヲ得ルト云フコトハ、到底現在ノ農村ノ實情トシテ爲シ得ナイ狀況ト相成ッテ居ルノデアリマス、サウ

云フ理由カラ致シマシテ、幾ラ公認競馬ニ軍馬ガ要求スル馬匹ヲ出走サセマシテモ、何等日本ノ軍馬資源ハ涵養セラレズ、又軍馬資源ノ改良ニナルト云フコトハ絕對ナイノデアリマス、サウ云フ結果ト致シマシテ、只今一流馬產地デアル所ノ軍馬資源地ノ馬ノ競賣リ價格ハ、却ッテ三流馬產地ノ農馬生産地ヨリモ、平均價格ニ於テ減少致シテ居ルノデアリマス、先程申上ゲマシタ所ノ三千數百萬圓ト云フ損失モ、是ハ九州ヲ基準トシタ御調デアルカモ知リマセヌガ、東北、北海道ニ於キマシテハ二毛作ガ出來ナイ關係上、全體ノ馬匹ノ飼料ノ費用ガ、約一億五千萬圓掛ルト見マシテ、其中少クモ五千萬圓ハ此軍馬飼料ニ關シマシテ、生産地ノ農家ハ大ナル犠牲ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ理由カラ見マスレバ、現在ノ公認競馬ナルモノハ、種ノ改良ナルベキ所ノ純粹ノ馬ノ出走ガ少クテ、徒ニ軍馬用ノモノヲ競馬ニ出走サセシムレバ、當業者ガ利益ヲ得ルダラウト云フ假定ノ下ニ、雜種馬ヲ盛ニ出走サセル結果ト致シマシテ、公認競馬本質ノ目的ヲ没却シテ居ルノデアリマス、ソレト同時ニ最前申上ゲマシタ所ノ地方競馬ノ制度ガ設ケラレマシテ、何等生産ニ一ツノ援助モ與ヘナイ狀況ニ相成ッテ

居リマス、斯ウ云フ現狀ニ於キマシテハ、如何ニ競馬法ガ統制サレマシテモ、競馬法實施ノ趣旨ニ副ハナイ結果ニ陥ルノデアリマス、而モ現在ニ於テ尙且ツ對案ガナイト云フコトハ、私共ハ恐入ッタ次第デアルノデアリマス、此局面ヲ打開致シマシテ、眞ニ競馬法實施ノ趣旨ニ副ヒ、民間當業者ノ利益ヲ増進致シマスルニハ、政府ハ單ニ監督トカ云フコト、或ハ金ヲ以テ之ヲ救済スル、サウ云フ客臭イコトヲ止メマシテ、茲ニ地方競馬、公認競馬ヲ通ジマシテ種馬改正ヲ致シマシタナラバ、私ハ現在ノ馬産ノ窮況ヲ打開シテ、眞ニ兵農兩全ノ政策ヲ確立シ得ベシト確信致スモノデアリマス、ソレニ付キマシテハ私共昨年東北、北海道ノ產馬大會ニ於キマシテ、政府ニ陳情ヲ致シテ居ルノデアリマス、先ヅ以テ政府ガ馬産ノ狀況ニ關シマシテ、相當補助金ヲ交附致スナラバ、此地方競馬ヲ改善致シマシテ、此地方ヲ通ジマシテ地方馬産ノ經濟的竝ニ改良増殖ニ資シナケレバナラヌ、恰モ政府ハ數年來冷害、旱害、水害等幾多ノ問題ニ付キマシテ、馬産ノ方面ニモ相當ナ匡救費ヲ支出サレマシタノデアリマスルガ、其支出ヲ致サレマシタ結果ニ依リマスレバ、馬一頭ニ付テ、或ハ買收牝馬ニ何圓斯

ウ云フヤウニ、金ヲ以テ解決セントシテ居ル、然ラバ其金ヲ貰フ方ハドウデアリマスカト云フト、農村ハ遠イ所デハ約五里、更ニ遠イ所ヨリハ十里、サウ云フ道ヲ辿ッテ來マシテ、途中ニ一泊致シマシテ、又歸ラナケレバナラス、折角貰ヒマシタ一圓、二圓ノ金ト云フモノハ唯々旅籠屋ノ宿泊料、或ハ汽車賃、サウ云フ旅費ニナッテ、何等實際ノ生産事業ニハ寄與スル所ガナカタノデアリマス、サウ云フ理由カラ致シマシテ政府ハ唯金ヲ以テ救済スル、ソシテコトハモウ現在ニ於テハ許サレナイ問題ト思フノデアリマス、例ヘバ東京優駿競走ニ於キマシテ二萬圓ノ賞金ガアルト致シマス、二萬圓ノ價格ノスル馬ガ十頭モ二十頭モ生産者カラ購買サレルノデアリマス、私共ハサウ云フ理由カラ致シマシテ、政府ガ茲ニ百萬圓ノ地方競馬ノ賞金ノ費用ヲ見マシテ、競馬ト云フ機關ヲ通ジマシタナラバ、其百萬圓ノ賞金ト云フモノハ、聽テハ一千萬圓、一千五百萬圓トナリマシテ生産者ニ殘ルノデアリマス、單ニ金ヲ以チマシテ之ヲ普及致シマシタナラバ、百萬圓ノ金ヲ貰タニ過ギナイノデアリマスルガ、一ツノ機關ヲ通ジマス、ソレハ何倍モノ金ニナリマシテ、當業者ノ救済ニナルノデアリマス、

先程申サレマシタヤウニ、軍馬要求馬ノ買上ガ漏レニ對スル陸軍ノ補償ト云フモノモ自ラ限度ガアッテ、到底生産者ノ満足ヲ充タスコトガ出來ナイト云フ話デアリマスガ、私共ハ此地方競馬ニ於キマシテ、政府ガ相當ノ賞金ヲ助成シ、陸軍ガ其必要トスル事項ヲ競馬ノ上ニ織込ダト致シマシタナラバ、軍馬買上漏レノ馬匹ト云フモノハ、全部地方競馬ニ出走シ得マシテ、サウシテ、自ラ軍馬買上ガ頭數ノ何倍ト云フ馬ハ、民間ノ豆腐屋、或ハ呉服屋、幾多ノ人ニ依ッテ購買サレマシテ、此方面ノ經濟ノ不況モ打開シ得ルト考ヘ得ラレルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ理由カラ致シマシテ、私共ハ先以テ種ノ改良ト云フコトヲ主眼トシタ公認競馬ト云フモノヲ盛ニシ、又生産者ノ經濟的ノ援助、或ハ生産者ニ、直接ニ改良増殖ニ關スル知識ノ啓發ヲ與ヘル爲ニ、自ラ生産地帯ノ地方競馬ハ、都會地附近ノ地方競馬ト別個ノ取扱ヲ致サレマシテ、政府ハ少クトモ百萬圓程度ノ此賞金ヲ交付致スト云フコトノ肚ヲ決メテヤッテ戴キタイト思フノデアリマス、政府ハ將來果シテソレダケノ肚ガアルカドウカ、此庶政一新ノ場合デアリマスルカラシテ、私共ハナイト致シマスレバ、飽マデモ主管大臣ニ質問致シマシ

テ、如何ナル點デ出來ナイカト云フ理由ヲ究明シナケレバナラスト思フノデアリマス、先ヅ概略ヲ申上ゲマシテ、農林當局竝ニ陸軍當局ノ所信ヲ御伺致スノデアリマス

○田淵政府委員 土田君ノ御質問ニ對シマシテ、農林省關係トシテ御答致スベキコトニ付テ御答致シマス

公認競馬ノ目的ニ付キマシテ色々御議論モゴザイマシタガ、御考ノヤウニ、公認競馬ハ優良種馬ノ檢定、即チ馬ノ能力ノ檢定機關ト致シマシテ、優良種馬ノ檢定方面ニ重キ任務ヲ持ッテ居ルコトハ御話ノ通りデアリマス、サウ云フヤウナ意味カラ致シマシテ、本邦内地ニ於キマシテ要シマスル馬、即チ「サラブレッド」系ノ馬、及中間種系ノ馬、サウ云フ方面ノ各種ノモノニ付キマシテ、今申上ゲルヤウナ能力ヲ檢定シテ參ッテ居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ、此「サラブレッド」即チ純粹種バカリヲ競走ノ馬トシ得ナイノハ、即チ中間種系ノ馬ヲ日本ノ馬政上ドウシテモ要スルト云フ意味カラ「サラブレッド」バカリノ競走ヲヤルト云フ譯ニハ參ラナイ、サウ云フ現在ノ狀況デアリマシテ、決シテ種馬檢定ノ目的ニ適ハヌ馬ヲヤラシテ居ルト云フ考デハナイノデアリマス、尙ホ併シ御説ノ所ハ十分ニ吾々ハ實際

ニ行ヒマスル場合ニハ注意致シマシテ、此目的ニ副フヤウニヤルコトハ勿論デアリマス

第二ニ、生産地ニ對シテ、非常ナル意義ヲ持ッテ居ル所ノ地方競馬、特ニ生産地ニ於ケル地方競馬ノ補助ニ付テ、將來如何ニ考ヘテ居ルカト云フコトノ御話デアリマスガ、是ハ先程モ一寸申上ゲマシタ通りニ、生産地ニ於ケル地方競馬ノ維持、即チ地方競馬ノ施行ト云フモノハ、相當困難ナ事情ニアリマスノデ、之ヲ引立テマス爲ニ、本年ハ初メデアリマスカラ極ク少額デアリマスガ、豫算ヲ計上シタ譯デアリマス、將來ハ是等ノ賞金ノ補助ニ付キマシテハ、出來ルダケ經費ヲ多ク致シマシテ、御趣旨ニ副フヤウニ努メタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ是ハ別ニ御質問デアリマセヌガ、地方競馬ノ統制改善ニ付キマシテ、馬政調査會ニ諮問シテ居リマスルノハ、御承知ノ通りニ馬政調査會ニハ各種ノ方面ノ代表ノ方ガオ居デニナル、生産地ハ勿論ノコト、又御話ノ馬匹協會カラモ委員ガ出デ居ラレマス、又競馬ノ方カラモ委員ガ出デ居ラレマス、サウ云フ風デ各種ノ方面ノ代表ノ方ヲ委員トシテ出來上ッテ居ルノガ、即チ馬政調査會デアリマスカラ、其方面ニ諮

問ヲ致セバ、馬匹協會ノ方ノ意見ハ當然ソレニ入ッテ來ルコトカト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、簡單デアリマスガ御答致シマス

○磯部政府委員 只今ノ御意見ニ付テハ陸軍當局ト致シマシテモ十分傾聴ヲ致シマシタ、更ニ研究ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○八田委員長 土田君ハ宜シウゴザイマスカ——瀬川君——瀬川君ハ宜シイノデスカ——ソレデハ西方貞一君、オ居デニナリマセヌネ、サウスルト高田耘平君ニ御願致シマス

○高田委員 私ハ内務省ノ政府委員ノ出席ヲ求メテ置キマシタガ、居ラレマセヌカラ、農林省ノ方面ノ意見ヲ御聽キシタイト思ヒマス、實ハ地方競馬ノ取締ノ問題デアリマスガ、此地方競馬ハ現在マデノ取締ノ方針ヲ見ルト、内務省ノ取締ノ方針ガ非常ニ區別デアリマス、地方廳ニ依ッテ非常ニ寬嚴ノ差ガアルノデアリマス、私ハ地方競馬ノ收入ニ依ッテ、其地方ノ產馬ノ獎勵ヲ爲サントスルガ如キ考ハ、大體ニ於テ間違ッテ居ルト思フノデアリマス、實ハ此地方競馬規則ハ大正十五年頃ト存ジマスガ、其當時各府縣ニ競馬ガ澤山出來テ、神奈川縣ノ如キハ七ツモハツモ出來タ、到底是ハイカヌト云フノデ、成ベク場所ノ數ヲ制限シテ、サウシ

テ此間ニ於ケル弊害ヲ除去シヨウ、斯ウ云フ方針デ出來タノデゴザイマシテ、最初ノ方針ハ地方競馬ノ收入ニ依ッテ馬ノ改良増進ニ資スルト云フ考ハナカッタ、所ガ其後地方競馬ヲヤッタ結果ガ相當ニ收入ノアル處ガ出來タモノデスカラ、二十一條ノ第一トシテ或ル程度ノ金額以上ノ收入ノアッタ場合ニハ其幾分ヲ其地方ノ馬ニ關スル獎勵ノ施設費用ニ出ス、斯ウ云フ規定ガ後デ出來タヤウニ考ヘテ居ル、私ハ實ハ地方ニ居リマシテ、地方競馬ニ依ッテ起ル弊害ヲ熟見テ居リマスガ、洵ニ憂慮ニ堪ヘナイ點ガアッタノデアリマス、所ガ私栃木縣デゴザイマスガ、今度警保局長ニナッタ萱場君ガ一昨昨年アタリ栃木縣ノ知事ニナッテ參リマシテ、丁度意見ヲ同ジウシタモノト見エマシテ、第十三條ノ規定ヲ嚴格ニ履行シタ、其爲ニ數百人ノ違反者ガ出來タノデゴザイマス、而シテ其縣ニ競馬會ト云フモノガアリマスガ、其處ノ收入ハ減リマシタ、減リマシタガ、私ノ考ニ依レバ馬ト人間ト取違ヘテ、馬ノ獎勵ヲスレバ宜シイカラ——人間ガ博突ヲ打ッテ資産ヲ無クスル人モアル、一家離散スル人モアル、ソレデハ人間ノ方ガ頽廢スル、ソレデモ宜イカラ馬ノ獎勵ヲスル爲ニ競馬ヲヤラナケレバナラヌト云フコ

トハ、人間ト馬ト穿キ違ヘタ間違ッタ考ダト私ハ思フ、ソコデ他府縣ハドウナッテ居ルカ分リマセヌガ、此地方競馬規則ニ謳ッテ居ル通り第十三條デアリマスガ、ソレカラ第十八條ニモ類似ノコトガ書イテアル、此規定ヲ嚴格ニ履行スルヤウニ農林當局ト内務當局ト打合セテ貰ヒタイ、成程此規定ヲ犯シテ一人デ五枚モ十枚モ二十枚モ買ッテヤルト云フコトニナレバ、其競馬ヲ爲ス聯合會ノ收入ハ殖エルカモ知レマセヌ、併シ其弊害ハ洵ニ測リ知ルベカラザルモノガアル、農林當局モ大抵其弊害ニ付テ御感ジガアル筈ト存ジマス、デアリマスカラ今後此取締ヲ履行ニ付テ假令地方ニ於ケル競馬會ガソレガ爲ニ競馬ノ仕事ガ出來ナクナッテモ宜イデヤナイカ、是ハ決シテ簡單ナ問題デハゴザイマセヌ、非常ニ地方ノ風紀ノ紊亂ヲ來シ、賭博ノ弊風ヲ助長スルモノデアリマスカラ、今後此取締規程ヲ履行スルヤウニ是非私ハ政府當局ニヤッテ戴キタイト思フガ、農林當局ハドウ思ヒマスガ、實ハ直接取締ノ任ニ當ル内務當局ノ意見ヲ聽キタイトデアリマスガ、參リマセヌノデ仕方アリマセヌカラ、農林當局ノ意見ヲ確メテ置キマス

○田淵政府委員 高田委員ノ御質問ニ御答辯申上ゲマス、御意見ノ點ハ洵ニ御尤ナ次第デアリマシテ、吾々從來モ内務省ト色々協議ヲ致シマシタ、又地方廳トモ色々最近ハ打合セ協議ヲ遂ゲマシテ、各地ニ於テ相當宜クナッテ參リツ、アルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、尙ホ御趣旨ノ點ハ將來十分ニ内務省トモ協議ヲ致シマシテ、又地方長官トモ直接十分ノ連絡ヲ取りマシテ遺憾ナキヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマスコトヲ申上ゲテ御答ト致シマス

○八田委員長 今ノニ關聯シテダサウデアリマスガ、土田君

○土田委員 一寸御伺致シマス、先程植村君カラノ質問ガアリマシタガ、競馬ノ馬券ヲ賣ルト云フコトヲ、賭博ニデモ類似スルヤウニ政府當局ハ考ヘテ居ル、成ベク馬券ノ賣上ヲ制限或ハ監督スルト云フコトハ、抑、競馬ノ實際ヲ知ラナイ方々デ、丁度昔電氣ガ流行ッタ時ニ、ドウモ電氣ト云フモノハ切支丹ノ魔法使ガヤルト云フヤウニ言ハレタ如ク、競馬ト云フモノハ必然的ニ一著ヲ取ルモノハ一著、二著ヲ取ルモノハ二著ト云ッテ殆下決定サレ、勝負以前ニ於テ明ニ分ッテ居ル次第デアリマス、併ナガラ調査研究ガ届カヌト恰モ之ヲ骰子勝負ノ如ク、ドレガ勝ッタカ負ケタカ云ッテ、偶然ノ結果ガ勝負ニ現レタト云フ考ヲ持ッテ居ルノ

デアリマスガ、世界ノ文化ガ進ムニ從ヒマシテ、競馬ハ決シテ賭博デハナイ、必ズ其馬ノ系統ニ依リマシテ必然ノ結果ガ競走ノ上ニ現レルノデアリマシテ、何レノ文化國ニ於キマシテモ此競馬ト云フモノハ非常ナ隆盛ヲ極メテ居ルノデアリマス、日本ノ現在ノ文化程度ニ於キマシテハ、ヤハリ是ダケノ國民ガ認識スル力ガ略、備ハタト私ハ確認シ得ルノデアリマス、私亞米利加ニ參リマシテ、馬券ヲ買ッタコトガアリマス、私共ハ馬券ヲ買ッテ百發百中全部當テタノデアリマス、是ハ決シテ偶然デハナイノデアリマス、賭博デナイノデアリマス、唯調査研究ガ届カヌト、獨リ競馬ノ馬券ノミナラズ、有ユル事業ヲヤリマシテモ、皆失敗ニ歸スルト云フコトハ、世ノ中ノ總テノ理窟ハサウ決マッテ居ルノデアリマス、獨リ競馬ノミニ限ッテ之ヲ賭博扱ヒニ政府ガ考ヘ、内務省ガ考ヘルト云フコトハ、怪シカラヌコト、考ヘテ居ルノデアリマス、私共ハ現在ノ國民ノ文化程度ニ於キマシテハ、當然此馬券ノ制限ヲ撤廢ヲ致シマシテ希望者ニ相當ノ馬券購入ノ機會ヲ與ヘルト云フコトガ、日本國民ニ對シテ政府當局ノ義務ト思フノデアリマス、二十圓三十圓ノ失敗ニ依リマシテ、自分ノ調

査研究ガ足ラナカッタト云フコトガ分リマスレバ、此國民ノ自戒自省ヲ促ガス機會ヲ多ク與ヘルコトニナルノデアリマス、現在「チユートン」人種ガ世界ニ發展スルノモ、一面ニハ競馬ニ依ル訓練ト云フコトモ、一ツノ國民性ヲ涵養シタノデアリマス（笑聲）斯ノ如キ重大ナル時期ニ於キマシテ、何等競馬其モノヲ認識セザルガ爲ニ之ヲ賭博視シテ、サウシテ之ニ非難ヲ加ヘルト云フコトハ、私共ノ殆ド了解ニ苦シム所デアリマス、競馬其モノハ八百長ガアリマスレバ初メテ賭博デアリマスケレドモ、現在ノ競馬ニ於テハ八百長ハナクナッテ居ルノデアリマス、八百長ガナクナルト同時ニ、此馬券ノ發賣ヲモット増額出來マスヤウニ、農林當局並ニ軍部當局カラ能ク司法當局、内務當局ニ此實情ヲ然ルベク御傳ヘアランコトヲ希望スル次第デアリマス

○八田委員長 ソレデハ岡本實太郎君

○岡本委員 私第一ニ御尋致シタイノハ本法案ニ依ッテ設立サレマス日本競馬會、此法人ノ性質デアリマス、即チ第一條ニ掲ゲラレマシタ日本競馬會ト云フモノハ公益法人トシテノ私法人ナリヤ、將又公法人ナリヤ、之ヲ御尋致スノデアリマス、此御尋ヲ致スト云フ理由ハ現行法ニ依リマスレバ、第一

條ニ明ニ「民法第三十四條ノ法人ニシテ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルモノハ」ト斯ウアリマスルカラ、明ニ公益法人トシテノ私法人デアリマス、然ルニ本案ニ依リマス、一條デ全ク此文字ガ取レタノミナラズ、法案第十五條カト思ヒマシタガ、民法ノ公益法人ニ關スル各種ノ規定ノ準用ガアルノデアリマス、準用サレルト云フ以上、是ハ恐ラク民法ノ公益法人ニビタツト嵌ルモノデハアルマイ、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマス、或ハ又此法案ノ四十八條ノ二項デシタカ保留財産ニ付キマシテ「民法ノ規定ニ依リ清算ヲ爲スコトヲ要ス」斯ウ云フヤウニ掲ゲデアリマス、此處カラ見マストドウシテモ本法案ニ依ル法人ハ民法ノ公益法人デハナイ、斯ウ云フヤウニ前提ガ思ヘルノデス、然ラバ公法人ナリヤト申シマス、是ハ國家權力ノ發動ニ依ル性質ノモノデモナイト思ヒマスカラ、公法人トモ明ニ言ヒ得ナイ、是ニ於テ性質ガ甚ダ疑ハシイ、斯ク申シマスノハ、公益ニ依ル私法人ナリトスルナラバ、若シ此財産上ノ争ヒ等ガ出來レバ、普通裁判所ニ出訴ガ出來ルノデスガ、私法人デナイトスルナラバ、普通裁判所ハ取扱ヒマセヌ、出訴出來ナイノデス、シテモ負ケマス、公法人ナラバ又争ヒガアリマ

シテモ、行政訴訟ヲ爲サントシテモ、本法ニハ許シテ居リマセヌカラ、其救済ノ途ガナイノデアリマス、現ニ農林省關係ニ於キマシテモ、耕地整理組合ノ如キガ、今ニ公法人ナリヤ私法人ナリヤ實際分ラナイノデス、大審院ノ判決例ガ兩方アリマス、一ハ公法人ナリト言ヒ、一ハ私法人ナリト言ヒ、殆ド適從スル所ガナイ、是ハ聯合部ノ協議ニ依ッテ新シキ判例トシテ何レカニ決定サレルヨリ仕方ガナイノデアリマスカラ、今耕地整理ニ付テ争ガ出來マシテモ受付ケハシナイ、受付ケテ審理スルモノモアルガ、受付ケテモ無訴權ト云フ抗辯ガ成立ッテ負ケテシマフ、兩立シテ居ル、斯ウ云フ風デ結局聯合部ノ審理ニ俟ツヨリ外ハナイ、併シ其内ニハ何レ決定シマセウ、ソレカラ水先案内組合ノ如キハ從來公法人トシテ永ク取扱ハレテ居ッタノニ、昨年ノ夏デスカ大審院ノ判決例ニ依ッテ、是ハ私法人ナリト判決例ガ變ッテ居ルノデアリマス、私近頃ノ實例ヲ見マス、ドウモ公法人扱ヲシテ居ッタノガ、漸次私法人扱ニナルト云フ傾向ニ此判決例ガ變ッテ來ルヤウニ思フ、ソコデ此法人ノ如キモ何レカニ性質ヲ決定シテ置カナイト、後日紛争ガ出來、隨分取扱上ニ困ルコトガ多クナッテ來ルト思フ、故ニ私ハ本案ニ依ッ

テ成立ッ日本競馬會ト云フモノハ、茲ニ公共ノ目的、公益ニ依ル私法人ナリヤ或ハ公法人ナリヤ、此性質ヲ前提トシテ能ク明ニシテ置カナケレバナラヌト思フカラ、政府ニ御尋スル次第アリマス、是ハ農林省ノ當局デモ、或ハ司法省何レデモ宜シイ

○八田委員長 司法ノ説明員カラ御答ガアルサウデス——司法省説明員

○奥野司法書記官 司法省トシテ御答致シマス、此日本競馬會ハ、此法律ニ依ッテ認メラレル所ノ法人デアッテ、其性質ハ私法人デアルト考ヘテ居リマス、其理由ハ大體ニ於テ民法ノ法人ニ關スル規定ヲ準用サレテ居リマス、ノミナラズ他ノ私法人ト同ジク登記ヲスルコトニナッテ居リマス、サウ云フ關係カラシテ之ノ性質ハ私法人デアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○岡本委員 其私法人ト云フ言明ヲ得レバソレデ大體満足致シマスガ、尙ホ序ニ關聯シテ御尋致シタイ、私ノ疑ッタト云フノハ各種ノ私法人ノコトヲ準用シタカラ疑ッタ、登記ガアルト云フコトニナリマス、公法人ノ中ニモ斯ウ云フコトガ必ズ入ッテ居ルデハナイカト思フ、今マデ判決例ハ公法人デ取扱ッテ居ル、私法人ト云フコトガ明ニナレバ宜イ、次ニ法文ノ八條デスカ、第一項中

ノ改正デ、從來ノ三分ノ二ヲ四分ノ三ニ改メラレテ居ル、是ハ彼ノ納付金ヲ使フ途ヲ、從來ハ馬政ノ爲ニ三分ノ二ヲ使ヒ、社會事業ニ三分ノ一ヲ使フト、斯様ニナッテ居ッタノヲ改メラレテ、馬政ノ爲ニ使フノヲ四分ノ三トセラレテ、社會事業ニ使フノヲ四分ノ一トサレタ、斯様ナ改正ト思ヒマスガ、間違デアリマセウカ、念ノ爲ニ政府當局ノ御答辯ヲ願ヒマス

○田淵政府委員 從來ハ馬ノ爲ニ使ヒマス政府納付金ノ割合ト云フモノハ、三分ノ二ヲ下ラヌ範圍ト云フコトニナッテ居リマス、ソレヲ今回ハ四分ノ三ヲ下ラヌ範圍ト、斯ウ云フ風ニ改正致サウト云フノデアリマス

○岡本委員 ヤハリ私ノ想像通り、馬ノ爲ニ使ハレル三分ノ二ガ四分ノ三トナリ、隨テ社會事業ニ使ハレル三分ノ一ガ四分ノ一、斯ウ云フ風ニナッタヤウデアリマスガ、是ハ内務省ノ當局ニ關係ガ多イコトダラウト思ヒマスガ、何故之ヲ變ヘラレタカ、農林省ノ立場カラ行カレテ馬ノ方ノコトカラ考ヘレバ、如何ニモ其金額ガ多ク使ハレル程宜イデセウ、元々原案ノ社會事業ニ三分ノ一使ハレルノヲ四分ノ一ニ減シタト云フコトハ、一般ニハ感ジガ惡イト思フノデス、勿論私ガ推量致シマシテモ、最近非常

ニ競馬熱ガ旺盛デアル爲ニ、納付金ト云フモノモ大分殖エテ居リマセウ、隨テ總額ニ於テハ社會事業ニ使ハレルノガ、三分ノ一ガ四分ノ一ニ減ジマシテモ、金額ニハ違ヒナイカモ知レマセヌ、ソレハ違ヒナイト思ヒマスガ、率ヲ殊更ニ變ヘラレタト云フノハ何カ其處ニ理由ガアリマス、其點ヲ承リタイト思ヒマス

○八田委員長 昨日其件ニ付テハ大臣カラ説明ガアリマシタガ、尙ホ能ク御分リニナルヤウニ政府委員カラ御答辯ヲ願ヒマス

○田淵政府委員 此點ニ付キマシテハ私モ先程カラ御質問ニ十分御答致シタ積リデ居リマスガ、是ハ元々競馬カラ收入ニナリマシタ金ハ馬事指導ノ方面ト社會事業ノ方面ニ使フト云フコトニナリマシタガ、サウ云フヤウナ規定ノ入りマシタ昭和六年ノ改正ノ場合ニ、社會事業ノ方ニ百萬圓ヲ使フ、將來ソレガ増加シテ參ッテモ百萬圓ヲ使フコトニハ變リハナイノデアルト云フヤウニ、議會デモ説明ニナッテ居リマス、又吾々實務ヲ執ッテ參ッテ居リマスル者ト致シマシテモ、其様ニヤッテ參リマシタ、其當時三百五十萬圓バカリノ收入デアリマシタガ、其後收入ガ増加致シマシテモ、ヤハリ社會事業方面ニハ百萬圓ノモノヲ廻シテ參ッタヤウ

ナ次第デアリマス、今回ノ法律ノ改正デ納付金ノ率ガ百分ノ六カラ百分ノ八以内ニ變更ニナッタ、其變更ニナリマシタ金額ハ、是ハ御承知ノ通りニ、馬政第二次計畫ノ方面ニ廻シテ居ル譯デアリマス、サウ云フ風ナ關係デ、今度増率ニナリマシタ二分ト云フモノハ馬ノ方ニ使ッテ參ル譯デアリマス、カラ、其意味ニ於テ計算上カラ參リマスルト、六分ノ時ニ三分ノ二デアレバ、八分ニナレバ四分ノ三ト大體改メルノガ平仄ガ合ッテ參ル譯デアリマスカラ、サウ云フ風ニ改正ヲ致シタ譯デアリマス

○岡本委員 豫算總會モ只今濟ミマシタサウデ、豫算ノ本會議ガ始ッタト思ヒマスカラ、極メテ時間ヲ少ク要領ダケモウ一遍御尋致シマス、私ガ本會議ニ於テ質問致シマシテ、當局ノ農林大臣カラ御説明ニナリマシタコトノ尙ホ延長ニナリマスガ、少シ足ラナイ所ヲ政府ニ御尋スルノデアリマス、即チ本案ノ四十八條ニ依ッテ特別ノ事由アリト認メラレタル法人、端的ニ言ヒ換ヘマスレバ、根岸ノ競馬、此財産ノ保留サレタノヲ如何ニ處分サレルカト云フコトニ付キマシテハ、決シテ私ニ分配サスルト云フヤウナコトハサセナイ、斯ウ云フヤウナ御説明デ甚ダ満足致シマス、然ラバ之ヲドウ

云フ使途ニ向ケルカト云フト、日本競馬會ノ外廓ニ別ニ之ヲ援助スル團體ヲ作ル、ソレノ方ヘ此財産ヲ繼續セシメテ處分スルコトニスル、斯ウ云フ御説明デアリマシタカラ此點モ満足致シマス、序ニ一寸申シテ置キマスガ、本會議ノ速記録ヲ見マスト博覽會、共進會ノ如キト書イデアリマスガ、私ハ博覽會協會ト言ッタノガ間違ッテ居リマスカラ茲ニ訂正シテ置キマス、協贊會的ノモノモ出來テ、ソレニ之ヲ持ッテ行ク

ト云フ御説明デアリマシタカラ、私ニ處分ヲシナイト云フコトデ私ハ満足致シマス、所謂協贊會的ノ團體ト云フモノガ、ヤハリ民法ノ公益法人トシテ設立サレルモノカ、或ハ既ニ現行法ニ依ッテ現在アル競馬場、言ヒ換ヘレバ公益法人ノ社團法人デス、是ガ直

グ様變ッテ來ル、此點ト、ヨモヤ私ノ會社ト云フヤウナモノヲ造ルコトハ私ハアルマイト思ヒマスガ、公益法人ノ民法ノ規定ニ依ッテ設立サレルモノヲ御作りニナッテ、ソレノ下ニオヤリニナルノデアアルカ、此趣旨デアリマスカ、ソレヲ御同致シマス

○田淵政府委員 日本競馬會ガ出來マスト一年以内ニ從來ノ競馬俱樂部、即チ社團法人ノ競馬俱樂部ハ解散致ス譯デアリマス、サウ致シマシテ今度ハ其從來ノ俱樂部ノ會員

ガ又寄りマシテ、新ニ法人的ノ團體ヲ作ッテ、ソレガ日本競馬會ノ競馬ノ舉行ニ協力援助シテ呉レルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、其法人ノ性質ハドウ云フ風ニ考ヘテ居ルカト云フ御尋デゴザイマスガ、ソレハヤハリ大體民法ノ規定ニ依リマシテ、民法第三十四條社團法人ニスルノガ適當デアラウト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、吾々ノ方ト致シマシテハ、斯ウ云フ風ナ心持デヤッテ居リマス

○岡本委員 民法ノ公益法人ニ依ッテ設立セシメルノダト云フノデ、洵ニ満足デアリマス、シタナラバ寧ロ財産ノ處分カラ來ルノデスカラ、財團法人ノ方ガ却テ宜イノデヤナイデスカ

○田淵政府委員 御答申上ゲマスガ、此日本競馬會ノ競馬ノ舉行ニ協力援助シテ參リマス團體ヲ設ケサスヤウニ致スト云フノハ、是ハ獨リ橫濱ノ日本競馬俱樂部バカリデナク、現在ノ十一競馬俱樂部何レニ付キマシテモ同ジヤウニ扱ヒタイと思ッテ居リマス、偶、ソコニ保留財産ノアリマシタ、橫濱ノ日本「レース」俱樂部ニ於キマシテハ、サウ云フ保留致シマシタ財産ヲ、此援助團體ニ引

繼イデ參ルト云フコトニナルノデ、他ノ仕事モ澤山アル譯デアリマス、又現在ノ會員

ガ、ヤハリ引移ッテ、即チ新シイ法人ノ會員トナッテ、競馬ノ馬モ出シ、或ハソレ以外ノ諸種ノ馬事施設ナンカモヤル場合モアリマセウ、サウ云フ風ニ其會員ガ新シイ方ニ入ッテ行ッテ、十一トモ活動シテ參ル譯デアリマスカラ、ヤハリ外ノ俱樂部ト同ジヤウニ言ッテ差支ナイト斯様ニ考ヘテ居リマス

○岡本委員 財團法人ニシマシテモ、社團法人ニシマシテモ、何レモ勝手ニ、私ニ財産ノ處分ガ出來ナイ、若シ解散デモシテ清算スル時ニハ、民法ノ第七十二條ニ依ッテ處分スルト云フノナラバ弊害ヲ除ケルカラ宜イガ、斯ウ云フモノヲ特ニ作ラナケレバナ

ラスト云フ理由ガマダ私分リマセヌ、現在ノ十一ノ社團法人ノ關係者ガ寄ッテヤハリ之ヲ作ルノダト云フナラバ、現在ノ十一ハ解散シテ日本競馬會ニ行クノデスカラ、其中ニ全部入レテシマッテモ結果ニ於テ同ジ

モノニナル、別ニ協贊會ト云フモノヲ強ヒテ作ラナケレバナラスト云フ理由ガ分リマセヌ、ソレデ特殊ナ事情トシテ先ヅ差當リ橫濱ノ根岸ノ競馬ダケヲ特ニ財産ヲ保留セシメルト云フ、ソコノ理由ガマダ明カデア

リマセヌカラ、今一應御説明ヲ願ヒマス
○田淵政府委員 御答致シマス、御話ノ通りニ財團法人ニ致シマシテモ、社團法人ニ

致シマシテモ、保留致シマシタ部分ヲ如何

ニ管理シテ行クカト云フコトニ付テハ變化ハナイト思ヒマス、ソレデ此日本競馬會ガ出來マシテ、サウシテ一年以内ニ解散ヲシテ資産ヲ引繼イデ參ル、一般ノ十一ノ競馬ニ於キマシテハ、アトノ競馬ノ施行ト云フ

モノニ對シテヤハリ從來ノ競馬俱樂部ノ會員ノ馬モ現ニ持ッテ居ルシ、競馬ニソレヲ必ズ出シテ行クノデアリマス、ソレニ付キマシテ何カ一定ノ團體的ナモノガアッテ、ソコデ御互ニ各自自分ノ勝手ノコトバカリノナイヤウニ一ツノ團體ヲ作ッテ、ソコデ協調シ

テ競馬ノ施行ヲ援助シテ行ク、即チ馬ヲ出シテ行ク、其他有ユル方面ニ日本競馬會ノ、其場所ノ競馬ノ施行ヲ援助シテ參ルト云フヤウナコトニナルノデアリマスカラ、一ツ

ノドウシテモ團體ヲ作ルノガ、是ガ必要ダト思ヒマス、ノミナラズ日本競馬會モ、從來ノ俱樂部ノ會員ガ受ケテ居ッタ同ジヤウナ便益ヲ、ヤハリ將來ニ於キマシテモ受

ケテ行クコトガ必要ナンデアリマス、ソレヲヤハリ一ツノ團體ニシテ置イテ、ソコヘ抽籤馬ノ補助デアルトカ、或ハ其他ノ便益ヲ與ヘテ行ク、個々ニ獨立シテ居テハ方法ガ付キマセヌ、ヤハリ團體ヲ作ッテ行カナイト「スムーズ」ニ行カナイ、斯様ニ考ヘマス、

又實際競馬ヲヤッテ居ラレル方々モ、サウ云フ風ナコトガ宜イ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ラレルノデ、吾々モヤハリサウ云フ團體ヲ作ッテ行クノガ、一番圓滿ニ引繼ギラシテ行ッテ、而モ將來色々便益ヲ與ヘテ行クコトノ道筋ガ立チ易イノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○岡本委員 御説明デ餘程分リマシタガ、日本競馬會ノ方デ爲スコトガ出來ヌトカ、或ハ非常ナ困難ガアルト云フヤウナコトヲ、特ニ此補助ヲスル團體デ、別ニヤラセルト云フナラバ宜シイノデスガ、ヤハリ競馬ノ準備ダトカ、或ハ下拵ヘヲスルト云フヤウナコトヲ、主トシテ此別ノ團體デヤラスト云フノデアリマスガ、何レモ日本競馬會デヤリ得ルコトナンデス、ヤリ得ルナラバ別ノ團體ヲ作ル必要ガナイ、斯ウ考ヘマスガ、此點如何デゴザイマスカ

○田淵政府委員 極ク簡單ナ言葉デ申シマス、從來ノ會員ハ即チ馬ヲ持ッテ居ラレル馬主ノ方々デアル、其馬主ノ方々ガ將來競馬ニ馬ヲ出シテ行カレルノデアリマスガ、其馬主トシテハヤハリ一ツノ馬主ノ團體ト云フモノガアッテ、ソコデ所謂統制ヲシタリ、ソレカラ抽籤馬ト云ッテ馬ヲ會員ガ皆取ッテ行ク、ソレニ對シテノ補助ヲ從來モ俱

樂部デ與ヘテ居ルノデアリマスガ、此際ニサウ云フヤウナ補助ガサツト消エテシマフト云フヤウナコトニナッテハ、ソレハ從來ノ俱樂部ノ會員ニ不便ニナル譯デアリマス、

サウ云フ風ナ便益ト云フモノハ、斯ウ云フ統制ガアッテモ、少シモ變ラヌヤウニシタイ、即チ競馬ノ適正ナル施行ヲ行フ爲ニ、吾々ハ此統一ヲシテ參ルノデアルケレドモ、其統一スルガ爲ニ從來ノ會員ニ不利、不便ヲ與ヘルコトハ、是ハ避ケナケレバナラヌト云フ風ナ意味カラ、サウ云フ團體ヲ一緒ニ作ラシテ團體ノ會員トナッテ、從來ト同ジヤウニ其會員ガ初メテ馬ヲ出ス資格ガアル、誰モ馬ヲ出スト云フコトニ致シマス、是ハ競馬ト云フモノガ隨分變ナモノニナッデシマヒマシテ、ソコニ適正ナル競馬ノ施行ガ出來マセヌカラ、サウ云フ風ニ馬ヲ出ス人ハ、相當資格ノアル人デナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナコトヲ「スムーズ」ニヤッテ行クニハ、ドウシテモ一ツノ團體ガナイトイケナイヤウニ考ヘマス、尙ホ將來日本競馬會カラ、相當ノ補助モ出シテ行カナケレバナラヌ、サウ致シマセヌト現在ノ十一ノ競馬俱樂部ノ會員ハ、從來通りノ便益ハ得ラレマセヌカラ、其邊ノ關係カラサウ致シマシタノデ、吾々モサウ思ヒマスシ、又當

業者ノ方々モ是非サウデナケレバ困ルト云フ考デ居ラレル譯デアリマス

○岡本委員 ソレハ其程度ニ致シマシテ、モウ一ツ簡單ニ伺ヒマス、法案ノ第十六條ノ免稅ノコトデアリマス、税金デス、所得稅、營業收益稅ハ免稅サレル、斯ウナッテ居リマス、隨ヒマシテ地租、登録稅等ハ免稅ニナラヌコト、思ヒマス、是ハサウアッテ然ルベキト思ヒマスガ、コ、ニ疑トナッテ來ルコトハ家屋稅デアリマス、可ナリ大キナ建物ヲ持ッテ居リマスルシ、是ハ可ナリ大キナ税金ニナッテ來ルト思ヒマス、此家屋稅ニ付キマシテハ、是ガ私ノ法人デアルト云フ前提ニ致シマス、中々是ハ問題ガムヅカシイコトニナリマス、ト云フノハ現ニ最近行政裁判所ノ實例ヲ見マシテモ、或ハ工業俱樂部ダトカ、日本俱樂部トカ乃至保險協會、日本棋院、數多ノ斯ウ云フ團體ガ何レモ民法ノ法人ニナッテ居ルガ、家屋稅ヲ課ケラレタ、隨分大キナ額デス、是ガ行政訴訟ニナッテ、其結果日本棋院ダケハ勝チマシタ、アトハ皆負ケテ家屋稅ヲ課ケマシタ、其課ケラレタト云フ根本ハ、何デモ一部ヲ賃貸シテ居ルト云フ理由カラデアリマスガ、現ニ行政訴訟ニ繫ッテ居ル、政友會ノ建物ニモ多クノ家屋稅ガ課カリマシテ、アレモ行政裁判

所ニ繫屬中デアリマス、民政黨ノ建物ニモ家屋稅ヲ課ケラレ、今ハ行政訴訟ニハナッテ居リマセヌガ、異議ヲ申上テ、居ルト云フ次第デアリマス、是ガ公益法人ト云フト此家屋稅ハ頗ル問題ニナッテ來ル、小サナ金額デハナイト思フ、隨テ地方ノ附加稅ナドモ、自然ニドウナリマスカト云フコトモ疑ヲ持チマスカラ、其點ハ政府ハドウ云フ御考デアリマスガ、御答辯ヲ御願シタイト思ヒマス

○田淵政府委員 現行ノ競馬法ノ八條ニ、是ハ昭和六年ノ改正ノ時ニ入ッテ規定デアリマスガ、今度ノ改正ニモ動カサズニ其儘ニナッテ居リマスガ「競馬場ノ開設又ハ維持、競走馬ノ出馬登録又ハ出場、競馬ノ觀覽、勝馬投票券ノ發賣又ハ購買、拂戻金又ハ競馬賞金ノ交付又ハ受領其ノ他競馬ノ施行又ハ開催ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ」斯ウ云フ規定ガ入ッテ居リマス、ソレデ此規定ニ依リマシテ如何ニ解釋ヲシテ行カト云フコトニナル譯デアリマスガ、是ハ餘程ムヅカシイ解釋デアリマシテ、議論ハ必シモ一致シテ居ナイノデアリマス、ソレデ吾々モ此點ヲ如何ニスルノガ本筋デアリマスガ、此處デ明確ニ申上ゲルコトガ出來ナイノデアリマスガ、實情ニ於キマシテハ

課ケラレテ、ドウモ課ケラルベキ筋合デハ
ナイト云フノデ異議ヲ申シテ居ルノモア
リ、又課ケナイト云フノモアリマスシ、其
邊ハマダ確定シテ居リマセヌ、大體此程度
デアリマス

○岡本委員 サウスルト念ノ爲ニ伺ヒマス
ガ、第八條ノ一番末文ニアル「地方税ヲ課
スルコトヲ得ズ」、是ハ此法案ガ成立シテモ
マダ生キテ居ルノデスカ

○田淵政府委員 其點ハ現行ノ儘存置スル
ヤウニ、其處ニハ觸レテ居リマセヌ

○八田委員長 通告順ニ依ル質問者ハ是デ
終リマシタガ、マダ委員外カラノ御希望モ
アリマスシ、又委員ノ中ニモ希望等ノ御意
見ヲ發表シタイト云フ御申込モアル位デア
リマスカラ、大體本日ノ質問ハ終了シタト
ハ申シマスモノ、明後十八日ノ午前ハ土
地賃賃價格ノ委員會ヲ開キ、午後ニ此競馬
法ニ關スル委員會ヲヤリタイト思ヒマスカ
ラ、大體月曜日ノ午前中ニ各黨ノ政務調査
會等ニ付議サレマシテ、御態度ヲ決定シテ、
コ、ニ御臨ミニナッテ、月曜ノ午後質問モ多
少繼續致シマスガ、サウシテ討論ヲシテ決
定致シタイト思ヒマス、ソレ迄ニ御運ビヲ
願ヒタイト思フノデスガ、本案ノ性質上貴
族院方面ノ關係モアリマスシ、非常ニ切迫

シテ居リマスカラ、サウ云フヤウニ取運ブ
ヤウニ御願シテ、本日ハ是デ打切ッテ散會
致シマシテ、本會議ニ臨マレンコトヲ望ミ
マス

午後三時五十三分散會

昭和十一年五月十六日印刷

昭和十一年五月十七日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社